

CyberLink

Media Suite

ユーザーズガイド



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement（'EULA'）の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement（EULA）：使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとしします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとしします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リパス・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などとはできないものとしします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとしします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとしします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に

読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーストックに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーストックによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の著作権は本ソフトウェアの著作権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーストックは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーストックは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

著作権

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、CyberLink Media Suite は情報、サービス、または CyberLink Media Suite に関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CyberLink がこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。CyberLink Media Suite は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City Taipei 231, Taiwan
Web サイト	http://www.cyberlink.com
TEL	886-2-8667-1298
FAX	886-2-8667-1300

Copyright © 2009 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

紹介	1
CyberLink Media Suite のプログラム	1
PowerStarter のプログラム	2
バージョン表	7
システム要件	8
音楽	11
音楽ディスクを作成する	12
音楽ディスクの書き込みを行う	12
オーディオ CD の取り込みを行う	13
オーディオ ファイルを変換する	14
音声を編集する	14
音声をライブラリーに追加する	14
音声を編集する	17
主音量を調整する	18
オーディオエフェクト	19
音声をエクスポートする	22
ムービー プレーヤー	23
メディアを再生する	24
対応するメディアの種類と形式	24
ムービーディスクを再生する	24
ムービーフォルダーを再生する	27
ムービーファイルを再生する	27
再生コントロール	28
設定	30

データ	33
データ ディスクを作成する	33
ディスクをフォーマットする	35
InstantBurn の使い方	36
画像	39
画像をインポートする	39
画像を管理する	40
ライブラリーを使用する	41
顔にタグを付ける	42
画像を補正する	44
画像を補正する	45
画像を微調整する	45
画像エフェクトを追加する	45
編集ログを表示する	46
スライドショーを再生する	46
スライドショーを作成する	48
スライドショー DVD を作成する	51
ディスク作成ウィンドウ	51
画像を印刷する	53
画像をアップロードする	54
Flickr に画像をアップロードする	54
Facebook に画像をアップロードする	55
動画	57
動画をインポートする	57
動画ファイルをインポートする	58
DV または HDV カムコーダーからインポートする	58
動画をキャプチャーする	60
DV カムコーダーからのキャプチャー	61
HDV カムコーダーからのキャプチャー	62

TV 信号からのキャプチャー	62
デジタルTV 信号からのキャプチャー	62
ウェブカメラからのキャプチャー	62
DVD からのキャプチャー	62
AVCHD カムコーダーからのキャプチャー	63
キャプチャーしたコンテンツ	63
動画を管理する	64
ライブラリーを使用する	64
動画を補正する	65
動画をトリミングする	66
動画を補正する	66
動画を微調整する	67
編集ログを表示する	67
動画を編集する	67
動画を変換する	68
iPod/iPhone 対応形式に変換する	68
Sony PSP/PS3 対応形式に変換する	69
ビデオ ディスクを作成する	72
HDV/DV ビデオの書き込みを行う	74
動画をアップロードする	75
YouTube に動画をアップロードする	75
Facebook に動画をアップロードする	75
コピー&バックアップ	77
データディスクをコピーする	77
ムービー DVD をコピーする	78
PC のバックアップとリストアを行う	79
データのバックアップを行う	80
データのリストアを行う	82
ユーティリティ	85
ディスクイメージを作成する	85

ディスクイメージの書き込みを行う	86
ディスクを消去する	87
ディスクラベルを印刷する	88
DVD フォルダの書き込みを行う	90
ビデオ ディスクを編集する	91
アドバンス ビデオ ディスク ユーティリティ	92
テクニカル サポート	93
テクニカル サポートにお問い合わせになる前に	93
Web サポート	94
索引	95

第1章：

紹介

CyberLink Media Suite は、マルチメディアソフトウェアを1つのパッケージにしたオールインワンソリューションです。

CyberLink Media Suite で使える機能は、次の通りです。

- 世界で最も広く使用されている PC 向けソフトウェアでムービーを再生。
- 各形式で音楽またはデータを書き込み。
- さまざまな機能が付いた編集ツールで動画を編集。
- プロジェクト作成用に、Flickr*、Freesound*、DirectorZone からコンテンツをダウンロード。
- モーションメニュー付きの Blu-ray ディスク*、AVCHD*、DVD ディスクをオーサリング。
- フェイスタグ機能を使って画像を整理したり、プロ並みのスライドショーを作成。
- 音声ファイルを録音、トリミング、切り取り、エフェクト追加して、動画編集に使ったり、友達と共有。
- Flickr や Facebook に画像を、YouTube や Facebook に動画をアップロードして、友達と共有。
- データのバックアップとリストア。
- ディスクラベルの作成と印刷。
- 便利なディスクツールにアクセス (ディスクの消去や作成、ディスクイメージの書き込み)。

注：* CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

CyberLink Media Suite のプログラム

CyberLink PowerStarter のインターフェイスを使うと、CyberLink Media Suite のすべてのプログラムにアクセスすることができます。CyberLink PowerStarter を使うと、CyberLink の多様なホーム エンターテイメント ソフトウェアに簡単に

アクセスでき、メディアファイルを管理したり、ムービーを作成したり、ディスクコンテンツを整理したり、ディスクに書き込んだりできます。

PowerStarter のプログラム

CyberLink PowerStarter を起動すると、次のように表示されます。

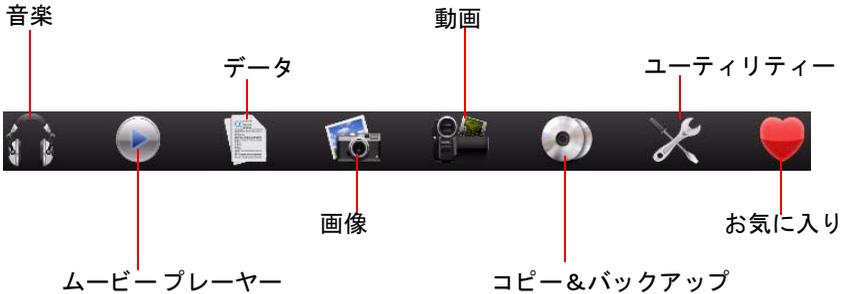


メニューアイコン

CyberLink PowerStarter から、すべてのソフトウェアに簡単にアクセスできます。また、ソフトウェアのアップグレード / アップデートも簡単にできます。

メニューアイコン

使用するメディアのタイプまたは機能に対応するメニューアイコンをクリックします。



メニューアイコンをクリックすると、アクセス可能な機能が表示されます。ボタンをクリックすると、各プログラムにクイックアクセスできます。

音楽



[音楽]メニューからは、音声ファイルをディスクに書き込んだり、さまざまな形式に変換する機能にアクセスできます。オーディオディスクをハードドライブに取り込んだり、オーディオファイルを編集することもできます。

ムービープレイヤー



[ムービープレイヤー]メニューからは、ムービーディスク、ムービーフォルダー、ムービーファイルからムービーを再生することができます。ムービープレイヤーのナビゲーションコントロールを使うと、好みに合わせて再生が可能です。

データ



[データ]メニューからは、データディスクの作成ができます(データファイルを各形式のディスクに書き込み)。既存のリライタブル(RW)ディスクをフォーマットして、ドラッグ&ドロップで書き込むこともできます。

画像



[画像]メニューからは、画像のインポート、管理、補正など、様々な機能にアクセスできます。スライドショーを作成したり、メニュー付きのフォトディスクをオーサリングしたり、インターネットサイトにアップロード、共有することもできます。

動画



[動画]メニューからは、各種ソースから動画をキャプチャーおよびインポートしたり、動画作品を編集したりすることができます。プロ並みのモーションメニュー付きのディスクを作成したり、ポータブルデバイス向けに動画を出したり、インターネットサイトにアップロード、共有したりすることもできます。

コピー&バックアップ



[コピー&バックアップ]メニューからは、データおよびムービーディスクのコピーができます。大切なデータをすべてバックアップし、必要に応じてリストアすることもできます。

ユーティリティ



[ユーティリティ]メニューからは、ディスクの管理(ディスクイメージの作成および書き込み、既存ディスクコンテンツの消去など)ができます。ビデオディスクを編集したり、ラベルのデザインや印刷を行うこともできます。

お気に入り



[お気に入り]メニューには、よく使う機能やプログラムを登録します。デフォルトでは、このウィンドは空になっています。

[お気に入り]メニューに機能やプログラムを登録するには、登録するメニューアイコンをクリックします。マウスを移動させて、

をクリックします。

[お気に入り]メニューの機能やプログラムを削除するには、マウスを移動させて、をクリックします。

機能アイコン

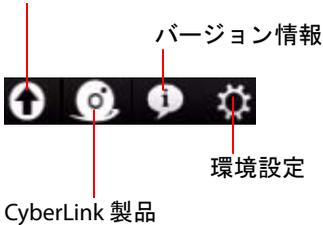
いずれかのメニューアイコンの上にマウスを置くと、アクセス可能な機能およびタスク内容が表示されます。いずれかの機能を選択し、対応するソフトウェアを起動して、目的のタスクを実行するか、希望する機能にアクセスします。



クイックアクセス ボタン

CyberLink PowerStarter には、[**アップグレード / アップデート**]、[**CyberLink 製品**]、[**バージョン情報**]、[**環境設定**] のクイックアクセス ボタンもあります。

アップグレード / アップデート



アップグレード / アップデート

[**アップグレード / アップデート**] ウィンドウから、コンピューターにインストールされている CyberLink 製品のバージョンが確認できます。一覧には、バージョン番号および、アップグレード / アップデートの有無を示すボタンが表示されます。

[**無料アップデート**] の  をクリックして、ソフトウェアの最新パッチをダウンロードします。[**アップグレード**] の  をクリックして、製品のアップグレードページを開くこともできます。

CyberLink 製品

インストールされている CyberLink 製品の一覧を表示するには、 をクリックします。プログラム名の上にマウスを置くと、各プログラムの詳細が表示されます。プログラムのいずれかを選択し、対応するソフトウェアを開きます。

注：CyberLink PowerStarter で利用可能なプログラムは、コンピューターにインストールされている製品、購入したバージョンによって異なります。

バージョン情報

CyberLink PowerStarter のバージョン情報を表示するには、 をクリックします。

環境設定

CyberLink PowerStarter の環境設定を行うには、 ボタンをクリックし、希望する設定を選択します。

- **プログラムを閉じると PowerStarter に戻る** : CyberLink PowerStarter からアクセスしたプログラムを閉じると、メイン ウィンドウに戻ります。
- **最新バージョンを自動的に確認する** : ソフトウェアの最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。最新バージョンがダウンロード可能になると、[無料アップデート] および [アップグレード] のボタンが利用可能になります。
- **CyberLink の製品情報を取得する** : アップグレード ページのバナーや広告の表示 / 非表示を切り替えます。
- **表示言語** : CyberLink PowerStarter の表示言語をドロップダウン リストから選択します。

バージョン表

CyberLink Media Suite 8.0 のバージョンの違いは、次の通りです。

製品	CMS 8.0 Ultra	CMS 8.0 Pro	CMS 8.0 Centra
PowerDVD	9.0 BD Express	9.0 Standard	9.0 Standard
PowerDirector	8.0 HE	8.0 HE	8.0 DE
PowerProducer	5.0 Ultra	5.0 Ultra	5.0 DVD
MediaShow	5.0 Deluxe	5.0 Deluxe	5.0 DE
Power2Go	6.0 Deluxe without authoring	6.0 Deluxe without authoring	6.0 Deluxe without authoring
WaveEditor	1.0 Standard	1.0 Standard	1.0 LE
PowerBackup	2.6 Standard	2.6 Standard	2.6 Standard
Instant Burn	5.0 Standard	5.0 Standard	5.0 Standard
PowerDVD Copy	1.0 Standard	1.0 Standard	1.0 Standard
LabelPrint	2.5 Standard	2.5 Standard	2.5 Standard

製品	CMS 8.0 Ultra	CMS 8.0 Pro	CMS 8.0 Centra
PhotoNow	1.0 Standard	1.0 Standard	1.0 Standard
PowerStarter	8.0	8.0	8.0

注：お使いの CyberLink Media Suite のバージョンによっては、一部の機能やプログラムが利用できない場合があります。特定の製品で提供されている機能に関する情報は、製品の Readme またはヘルプ ファイルを参照してください。

システム要件

このプログラムを実行するための最小システム要件は以下の通りです。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

最小システム要件

OS	Microsoft Windows 7/Vista / XP
画面解像度	1024 x 768、16 ビットカラー以上
メモリ	512 MB（1 GB 以上推奨） HD ビデオ編集には 2GB DDR2 以上を推奨
CPU	DVD 画質（MPEG-2）：Pentium 4 2.4 GHz または AMD Athlon XP 2200+ 高画質 MPEG-4 およびストリーミング（WMV、QuickTime、RealVideo）：Pentium 4 2.4 GHz または AMD Athlon XP 2400+ AVCHD および MPEG-2 HD（Blu-ray ディスク書込み）：Pentium Core 2 Duo E6400 または Athlon 64 X2 5000+

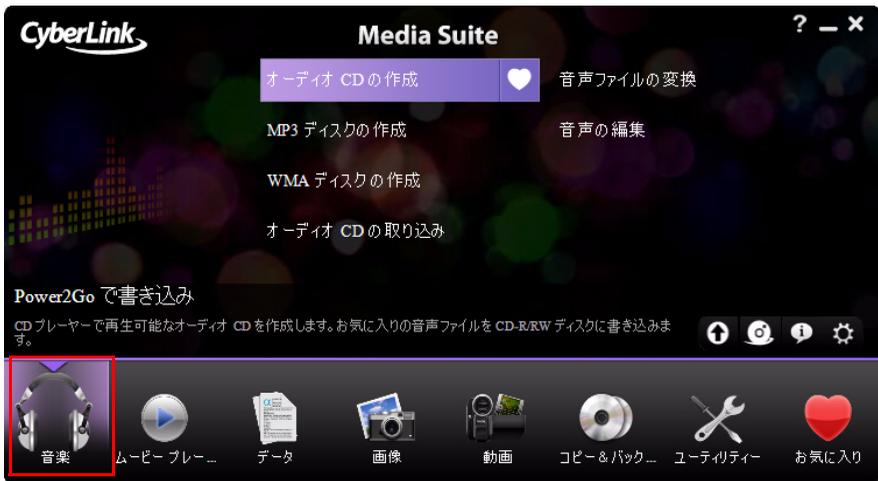
最小システム要件

VGA	Intel® 945GM 以上 64MB-VRAM 以上 一部のアニメーション効果が使用できない、または低いグラフィックシステムが使用される場合があります。
HDD 容量	最小 5 GB (SmartSound Quicktrack Library には 400MB が必要) DVD の出力には 10GB 必要 (20 GB 推奨) Blu-ray ディスク /AVCHD の出力には 60 GB 必要 (100GB 推奨)
DV	OHCI IEEE 1394 対応デバイス
ビデオキャプチャデバイス	WDM 規格準拠の PCI または USB1.0/2.0 キャプチャデバイス (WDM ドライバ対応 PC カメラや TV チューナなど) OHCI 対応 IEEE1394 接続 DV カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照) USB2.0 接続の DVD カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照) Sony MicroMV/AVCHD/HDV カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照)
書き込み	CD または DVD 書き込みドライブ (CD-R/RW、DVD+R/RW、DVD 乏 /RW など) は VCD/DVD/SVCD/AVCHD の書き込みが可能。 Blu-ray ディスク書き込みドライブは、Blu-ray ディスクへの書き込みが可能。

第2章：

音楽

[音楽]機能からは、CyberLink Power2Go を使って音声ファイルを DVD や CD に書き込むことができます。オーディオ CD からハード ディスクに音楽を取り込むこともできます。



CyberLink WaveEditor を使うと、音声ファイルにエフェクトを追加したり、カスタムの音声を録音することができます。

注：コンピュータに音楽ファイルを書き込んだり、取り込んだりしたりするためにコーデックが必要です。Windows Media Player 11 がインストールされていることを確認してください。

音楽ディスクを作成する

CyberLink Power2Go を使用すると、音楽ディスクが簡単に作成できます。通常の CD プレイヤーで再生できる音楽 CD や、MP3 や WMA ファイルを含む CD や DVD も作成できます。

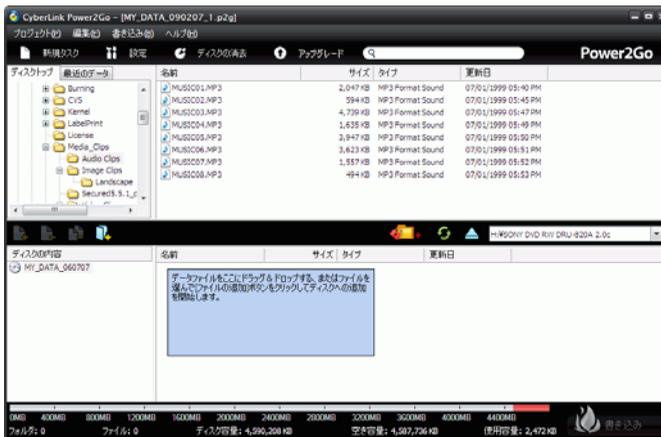
出力ディスクが異なっても、すべて同じ作成手順で作成できます。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

音楽ディスクの書き込みを行う

音楽ディスクの書き込みは、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [音楽] メニューから、作成する音楽ディスクのタイプまたはディスクの形式を選択します。音楽ディスクウィンドウが表示されます。



2. 検索ペインを使ってディスクに書き込みたいファイルを選択します。[メディア] タブから、CyberLink Media Library サービスから、アルバム、アーティスト、ジャンル、最近追加または開いた音楽ファイルを検索することができます。

3. 書き込みたい音楽ファイルを選択し、書き込み先ディスクにドラッグするか、 ボタンをクリックします。
4. 書き込みたい音声をすべて追加したら、 をクリックします。
5. 必要に応じて、[音楽] (オーディオ CD、MP3 音質、WMA 音質) タブや [共通]、[書き込みドライブ] タブの設定を変更してください。
6. 準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。ディスクの書き込みを開始します。
7. 書き込みが完了したら、ダイアログボックスからオプションを選択して以下を行います。
 - [ログの表示] をクリックして、書き込みログを表示します。ログはデフォルトのテキストエディタで開き、見たり、保存したりします。
 - ディスクのラベルを印刷するには [ラベル印刷] をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。詳細は、69 ページの「ディスクラベルの印刷」を参照してください。
 - [OK] をクリックしてダイアログを閉じて、終了します。

オーディオ CD の取り込みを行う

音声の取り込み機能を使用すると、音声ファイルを含む CD からオーディオトラックを MP3、WAV、WMA 形式でハードディスクに取り込めます。

音声ファイルをハードディスクに取り込む方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [音楽] メニューから、[オーディオ CD の取り込み] を選択します。
2. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
 - ディスクを交換したり、違うドライブに変更する場合は、[更新] をクリックして最新情報を確認します。
3. ハードディスクに取り込むオーディオトラックを選択します。
4. オーディオトラックを取り込むフォルダを指定します。
5. [実行] をクリックすると、ファイルの取り込みが開始します。CyberLink Power2Go は指定したフォルダにファイルを取り込みます。

オーディオファイルを変換する

オーディオ変換 ユーティリティを使用して、オーディオファイルを異なるオーディオフォーマット (MP3、WAV、WMA フォーマット間) に変換します。オーディオファイルを別の品質に変換したり、ビデオクリップからオーディオを録音したりできます。

オーディオファイルやビデオファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [音楽] メニューから、[音声ファイルの変換] を選択します。音声ファイル変換ウィンドウが開きます。
2.  をクリックしてから、変換するファイルを選択します。インポートをクリックしてファイルを開きます。
3. **参照** をクリックしてから、変換先フォルダを選択します。
4. ファイルを変換するフォーマットを指定し、必要な場合には、ドロップダウンボックスから音質を選択します。
5. **実行** をクリックして開始します。CyberLink Power2Go はファイルを指定フォーマットに変換します。

音声を編集する

CyberLink WaveEditor を使うと、録音、トリミング、切り取りなど、音声を編集して、動画編集やファイル共有の用途に活用することができます。

CyberLink WaveEditor で音声ファイルを編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウの [音楽] メニューから、[音声の編集] を選択します。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

音声をライブラリーに追加する

ハードドライブまたはリムーバブルデバイスから音声をインポートします。カスタムの音声を録音したり、Freesound Web サービスからダウンロードして、ライブラリーに直接インポートすることもできます。

音声をインポートする

ハードドライブまたはリムーバブル デバイスから音声をインポートするには、



をクリックし、ファイルを指定して、[開く]をクリックします。複数の音声ファイルを一度にライブラリーにインポートすることもできます。

注：音声ファイルをライブラリー エリアにドラッグ&ドロップして、プログラムにインポートすることもできます。

対応形式

CyberLink WaveEditor では、次の音声形式がインポート可能です。

音声 : MP3、WAV、WMA、M4A*、AC3**

注：* CyberLink WaveEditor の Standard バージョン、および LE バージョン (Windows 7 使用時) でのみご利用いただけます。** CyberLink WaveEditor の LE バージョンではご利用いただけません。

Freesound から音声をダウンロードする

サウンド エフェクトや音楽クリップなどの音声サンプルを Freesound サービスから CyberLink WaveEditor にダウンロードできます。

Freesound から音声クリップをダウンロードするには、次の操作を行います。

1.  をクリックします。
2. ウィザードの指示に従って、Freesound にサインインしてから利用規約に合意します。
3. 検索ウィンドウで、音声クリップを検索します。

注：検索を実行する前に、チェックボックスを使って検索キーワードを絞り込みます。

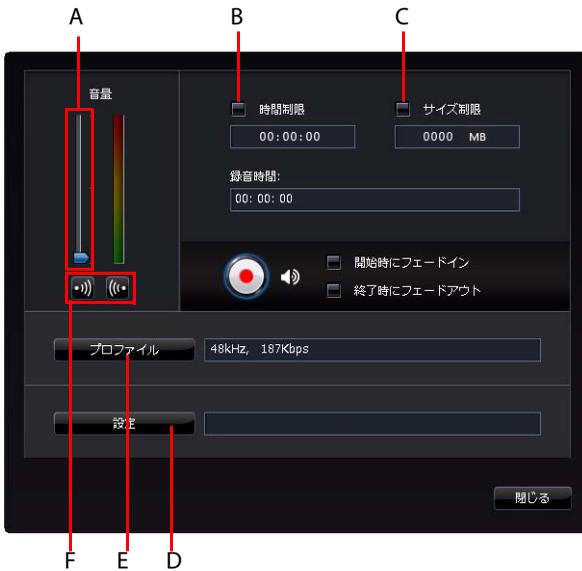
4. ライブラリーにインポートする音声をすべて選択したら、[ダウンロード] ボタンをクリックします。

注：ライブラリーにダウンロードした音声は、商業目的で利用できません。音声サムネイル下のボタンをクリックすると著作権情報が表示されます。

音声を録音する

CyberLink WaveEditor では、カスタムの音声を WAV 形式で録音することができます。録音した音声は、ライブラリーに直接インポートされ、[環境設定]で指定されるエクスポート フォルダーに保存されます。

音声を録音するには、 ボタンをクリックして、録音ウィンドウを開きます。



A-録音音量コントロール、B-時間制限設定、C-サイズ制限設定、D-音声デバイス設定、E-音質設定、F-フェードイン/フェードアウト ボタン

録音の環境設定は、次のように行います。

- スライダー コントロールで録音の入力音量を調整します。
- 指定した時間で録音を自動的に停止させるには、[時間制限]をチェックして、希望の時間を入力します。

- ・ 指定したファイルサイズに到達時に録音を自動的に停止させるには、[サイズ制限]をチェックして、希望のサイズを入力します。
- ・ [設定]を選択して、[音声デバイス]および[音声入力]を指定します。
- ・ [プロファイル]を選択して、音質を設定します。
- ・ 開始時にフェードインするには、 または [開始時にフェードイン] を選択します。終了時にフェードアウトするには、 または [終了時にフェードアウト] を選択します。

音声の録音を開始するには、 をクリックします。録音を停止して、ライブラリーに録音したファイルを保存/インポートするには、 をクリックします。[閉じる]をクリックして、メインウィンドウに戻ります。

音声を編集する

ライブラリーにすべての音声をインポートしたら、編集を開始します。音声ファイルをクロッピング、トリミングしたり、貼り付けたりすることができます。

音声ファイルを編集するには、次の操作を行います。

1. 編集する音声ファイルをライブラリーから選択します。
2. 編集するチャンネルを指定します (1チャンネルまたは2チャンネル)。範囲の選択を使って、編集する部分を選択します。
3. 編集ツールの詳細は次の通りです。

編集ツール



音声ファイルの選択部分を切り取ります。



選択部分をコピーします。



切り取りまたはコピーした音声の波形を、現在のタイムラインの位置に貼り付けます。



選択部分を削除します。

編集ツール



選択部分をクロッピングします。選択されていない部分は削除されます。

注：音声ファイルを編集しても、元の音声ファイルは影響されません。編集を保存するには、音声ファイルをエクスポートする必要があります。詳細は、22ページの「音声のエクスポートする」を参照してください。

主音量を調整する

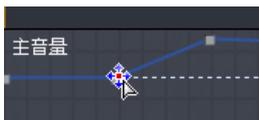
タイムラインの音声ファイルは、あらゆる位置で音量を調整することができます。任意の位置の音量を上げたり、下げたりすることができます。

主音量を調整するには、次の操作を行います。

1. 再生コントロールを使うか、タイムライン スライダーをドラッグして、最大音量 / 最小音量の位置を指定します。
2. 主音量エリアのラインをクリックして、音量キーを希望する音量レベルにドラッグします。



3. 再生コントロールを使うか、タイムライン スライダーをドラッグして、音量レベルを変更する開始点を指定します。
4. 主音量エリアのラインをクリックして、音量キーを元の音量レベルにドラッグします。



注:最後のステップは参考用です。最初から希望のレベルまで徐々に上げる/下げる場合には、必要ありません。

5. 必要に応じて音量キーを調整し、希望の音量レベルにします。

注:音量キーを削除し元の値に戻すには、不要なキーを選択し、主音量エリア外にドラッグします。

オーディオ エフェクト

CyberLink WaveEditor を使うと、音声ファイルに様々なデフォルトのエフェクトを適用することができます。ダウンロードしたカスタムの VST プラグイン エフェクトをインポートして、適用することもできます。

デフォルト エフェクト

CyberLink WaveEditor には、使用頻度の高いデフォルトのエフェクトが搭載されています。さらに高度なオーディオ エフェクトを適用したい場合は、カスタムの VST プラグイン エフェクトをインポートすることもできます。

CyberLink WaveEditor には、次のエフェクトが搭載されています。

注:エフェクトをプレビューするには、エフェクト エリアから希望のエフェクトを選択し、[プレビュー]をチェックして、 ボタンをクリックします。

音量

- **ブースト**:音量を上げます。スライダーを移動して、音量を調整します(最大 12 db)。
- **フェード**:音声をフェードイン/フェードアウトします。 を選択すると、音声をフェードインします。 を選択すると、フェードアウトします。スライダーを移動して、[開始音量](フェードイン/フェードアウトの開始時)および[終了音量](フェードイン/フェードアウトの終了時)を設定します。

歪み

- ・ **速度変更**: 音声全体の速度を変更します。元の速度の半分の速度 (0.5 X) から倍の速度 (2.0 X) まで変更することができます。
- ・ **ピッチシフト**: 音声のピッチを調整して、元の音声の速度を速め / 遅めます。

調整

- ・ **イコライザー**: 音声にイコライザー フィルター (プリセット) を適用します。各スライダーを移動して、音声全体をカスタマイズすることもできます。

生成

- ・ **反響**: 音声に反響音を適用します。各スライダーを移動して、エコーのレベルを調整します。
- ・ **無声音の生成**: 選択した音声に任意の時間、無声音を適用します。
- ・ **ノイズの生成**: 選択した音声に任意の時間、ノイズを適用します。

特殊

- ・ **ノイズリダクション**: 音声中のノイズを低減します。
- ・ **ラジオ**: ラジオ音声風のフィルターを適用します。[**ラジオの種類**] のドロップダウンから、希望の種類を選択します。
- ・ **電話**: 電話音声風のフィルターを適用します。[**電話の種類**] のドロップダウンから、希望の種類を選択します。

VST

VST プラグイン エフェクトは、音声処理ソフトウェアの業界規格です。VST エフェクトを購入、ダウンロードして、CyberLink WaveEditor にインポートします。

注: VST プラグイン エフェクトの詳細情報は、関連の文書を参照してください。

エフェクトをインポートする

VST プラグイン エフェクトを使って、音声に好みのカスタム エフェクトを適用することができます。VST プラグイン エフェクトは、インターネットから入手し、CyberLink WaveEditor に簡単にインポートすることができます。

注：CyberLink 社は、ダウンロードされた VST プラグイン エフェクトおよび VST モジュールの品質は保証いたしません。

VST プラグイン エフェクトをダウンロードしたら、次のように CyberLink WaveEditor にインポートします。

1. メニューから、[**エフェクト**] > [VST] > [**VST エフェクトのインポート**] を選択します。
2.  ボタンをクリックして、ダウンロードされた VST プラグイン エフェクトの保存先を検索します。

注：CyberLink WaveEditor は、DLL 形式の VST プラグイン エフェクトをインポートします。ダウンロードされたエフェクトが ZIP 形式の場合、プログラムにインポートする前に、ファイルを解凍する必要があります。

3. VST プラグイン エフェクトを選択したら、[**開く**] をクリックします。
4. [**OK**] をクリックして、エフェクトを CyberLink WaveEditor の VST セクションにインポートします。

エフェクトを適用する

エフェクトは、選択範囲またはクリップ全体に適用することができます。エフェクトを適用するには、次の操作を行います。

1. エフェクトを適用する音声ファイルをライブラリーから選択します。
2. エフェクトを適用するチャンネルを指定します (1 チャンネルまたは 2 チャンネル)。
3. 範囲の選択を使って、エフェクトを適用する部分を選択します。

注：範囲を選択しない場合は、クリップ全体にエフェクトが適用されます。

4. 適用するエフェクトをクリックします。エフェクト ウィンドウが開きません。
5. 好みに応じてエフェクト設定を調整します。
6. [OK] ボタンをクリックして、音声ファイルにエフェクトを適用します。

音声をエクスポートする

音声ファイルに適用した変更を保存すると、毎回新規のファイルに保存されます。実質的には、元のファイルをエクスポートして、新規バージョンとして保存（新規のファイル形式で保存も可能）していることとなります。

新規のバージョンとして音声ファイルを保存およびエクスポートするには、次の操作を行います。

1. 保存 / エクスポートする音声ファイルをライブラリーから選択して、 をクリックします。
2. [名前を付けて保存] で新規のファイル名を入力し、[ファイルの種類] ドロップダウンから、希望の形式を選択します。
3. [保存] をクリックします。ファイルは [環境設定] で指定されるエクスポート フォルダーに保存されます。

対応形式

CyberLink WaveEditor では、次の音声形式がエクスポート可能です。

音声：MP3**、WAV、WMA、M4A*

注：* CyberLink WaveEditor の Standard バージョン、および LE バージョン (Windows 7 使用時) でのみご利用いただけます。** CyberLink WaveEditor の LE バージョンではご利用いただけません。

第3章：

ムービー プレーヤー

CyberLink Media Suite から、通常のディスクプレーヤーと同様に使える CyberLink PowerDVD にアクセスできます。ナビゲーション コントロールを使うと、好みに合わせて、インタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。



CyberLink PowerDVD では、DVD フォルダの動画や、ハード ドライブの動画ファイルを再生することができます。

コンピューターでムービーを再生するには、[ムービープレーヤー] メニューから、再生するムービーメディアの種類を選択します。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

メディアを再生する

CyberLink PowerDVD は、ハイデフィニション コンテンツ、DVD、動画ファイル、オーディオ CD など、あらゆるデジタルメディアの再生が可能です。

対応するメディアの種類と形式

CyberLink PowerDVD が対応する光学ディスクとファイル形式は、以下の通りです。

ディスクの種類	ファイル形式
Blu-ray ディスク *	BDAV、BDMV
DVD	DVD-Video、AVCHD*、AVCREC*、DVD-VR、DVD+VR
CD	VCD、SVCD、オーディオ

注：CyberLink Media Suite Ultra でのみご利用いただけます。

CyberLink PowerDVD が対応するファイル形式は、以下の通りです。

音声形式：MP3、M3U、MP2、M4A、WAV、WMA、AOB、AC3、CDA、MID、RMI

動画形式：MPG、MPEG、AVI、DAT、WMV、ASF、VOB、DVR-MS、MOD、TOD、M2TS、MP4、DV、EVO、DIV、DivX、MPV、M1V、TRP、M2V、AVC、MOV、RMX、TIVO、VRO、WTV

ムービーディスクを再生する

CyberLink PowerDVD は、通常のディスクプレーヤーと同様に、ムービーディスクの再生ができるソフトウェアです。

CyberLink PowerDVD でムービーディスクを再生するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [**ムービープレイヤー**] メニューから、[**ムービーディスクの再生**] を選択します。
2. ディスクドライブにすでにムービーディスクが入っている場合、自動的に再生が開始します。別のドライブにあるディスクを選択する場合は、 をクリックしてディスクが含まれるドライブを選択し、[**再生**] をクリックします。

オートレジューム (続きから再生)

再生中に [停止] または [閉じる] をクリックすると、別のファイルやディスクをその後すぐに再生した場合でも、次回そのディスクを再生する際には、前回最後に見たシーンから再生されます。

オートレジューム機能により、前回停止したシーンが記録されます。オートレジューム機能には、以下のオプションがあります。

- [**続きから再生**] をクリックすると、前回停止したシーンから続きを見ることができます。
- [**最初から再生**] をクリックすると、ディスクの最初から再生が始まります。
- リモコン、ノートブックのタッチパッド、キーボードを使うか、マウスでサムネイルをクリック&ドラッグして、FancyView のチャプターサムネイルをスクロールします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

注：レジューム（続きから再生）機能は動画ファイルには対応しません。IFO ファイルがある場合、ハードディスク中の DVD ファイルのみに対応します。

ディスクを挿入する度にこの機能を表示しないようにするには、[プレイヤー] 設定タブの [**オートレジューム設定**] で設定します。詳細については、77 ページの「プレイヤーの設定」を参照してください。

チャプタービューワー

チャプタービューワーでは、チャプターのサムネイルを表示します (2 つのモードから選択)。

注：チャプタービューワーは、コンテンツ保護の理由により、Blu-ray ディスクは再生できません。

- : FancyView で、チャプターサムネイルを表示します。リモコン、キーボード、ノートブックのタッチパッドを使って、サムネイルをスクロールします。マウスを使って、チャプターサムネイルをクリック&ドラッグすることもできます。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。
- : グリッド・ビューで、チャプターサムネイルを表示します。リモコンかマウスを使って、チャプターサムネイルをブラウズします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

注：チャプタービューワーを使用すると、CyberLink PowerDVD はコンピュータに全チャプターのサムネイルを保存します。サムネイルを管理し、ディスクの空き容量を確保に関する詳細は、101 ページの「DVD の設定」のチャプタービューワーのサムネイルのセクションを参照してください。

TrueTheater エフェクトウィンドウ

 ボタンをクリックして、TrueTheater エフェクト * ウィンドウを表示します。



注: TrueTheater エフェクトは、Blu-ray ディスクタイトルの再生時は使用できません。TrueTheater エフェクトは、ハードウェアアクセラレーションが有効になっている間は、使用できません。

TrueTheater エフェクトは、DVD を最高画質で見るための CyberLink 独自の映像技術です。これらのエフェクトに関する詳細は、82 ページの「動画の設定」の TrueTheater エフェクトのセクションを参照してください。

ムービー フォルダーを再生する

DVD ムービー フォルダー中のムービーを再生するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [**ムービープレーヤー**] メニューから、[**ムービーフォルダーの再生**] を選択します。
2. [**フォルダの参照**] から、ムービーが含まれるフォルダーを検索します。
3. [OK] をクリックして、再生を開始します。

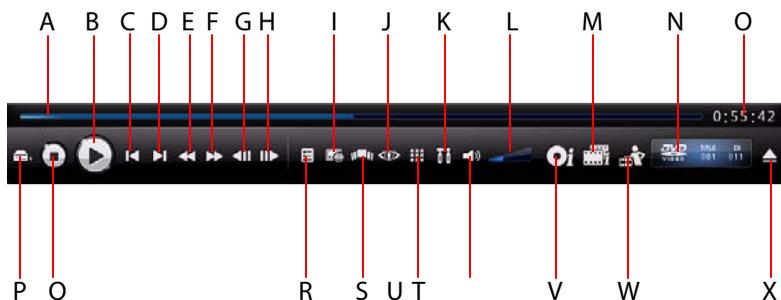
ムービー ファイルを再生する

CyberLink PowerDVD は、ディスク タイトル以外に、ムービーファイルも再生することができます。ムービーファイルを再生するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [**ムービープレーヤー**] メニューから、[**ムービーファイルの再生**] を選択します。
2. [**プレイリストの編集**] ウィンドウで、再生するムービーファイルを含むハードドライブ (左の画面) を検索します。ムービーファイルは、上部右の画面に表示されます。
3. 上部右の画面でファイルを選択して [**追加**] をクリックし、プレイリストに追加します。
4. プレイリストに入れるメディアファイルをすべて選択したら、[OK] をクリックします。CyberLink PowerDVD は、プレイリスト中のファイルを再生します。

再生コントロール

CyberLink PowerDVD の再生コントロールを使用すると、ディスクやその他のメディア、またプログラムの主要機能のすべてに簡単にアクセスできます。



ボタン / アイコン	ホットキー	説明
A ナビゲーションスライダ		経過時間を表示します。スライダをクリックすると、他のシーンにジャンプします。
B 再生 / 一時停止	Enter/Space バー	メディアを再生 / 一時停止します。
C 前のチャプター	P	前のチャプターに戻ります。
D 次のチャプター	N	次のチャプターに進みます。

ボタン / アイコン	ホットキー	説明
E 巻戻し	B	ディスクコンテンツを倍速で巻き戻しします。
F 早送り	F	ディスクコンテンツを倍速で早送りします。
G コマ戻し	E	前のフレームに移動します。
H コマ送り	T	次のフレームに移動します。
I 字幕、音声言語、アングル	U (字幕)、H (音声言語)、A (アングル)	字幕、音声言語、アングルの切り替えをします。
J TrueTheater エフェクト *		TrueTheater エフェクトのコントロールにアクセスします。
K 設定	Ctrl+C	PowerDVD の設定にアクセスします。
L 音量調整	+,-	音量を調節します。
M ムービーコレクション	F3	ムービーコレクションにアクセスします。
N 情報表示		再生中のメディアの再生情報を表示します。
O 経過時間 / 残り時間		経過時間と残り時間を切り替えます。
P メディアを選択	Ctrl+O	再生するメディアを選択します。

	ボタン / アイコン	ホットキー	説明
Q	停止	S	メディアを停止します。
R	メニュー	L	使用可能なディスクメニューにアクセスします。
S	チャプタービューワー		ディスクのチャプタービューワーにアクセスします。
T	拡張機能		ナンバーパッドや追加ボタンなど、拡張機能にアクセスします。
U	ミュート	Q	音量をミュートにします。
V	ムービー情報ページ	F2	現在のムービーの詳細情報やレビューにアクセスします。
W	Movie Remix ルーム	F4	Movie Remix ルームにアクセスします。
X	取り出し	Ctrl+E	選択したディスクドライブから、ディスクを取り出します。

注：利用可能な再生コントロールは、再生中のメディアによって異なります。

設定

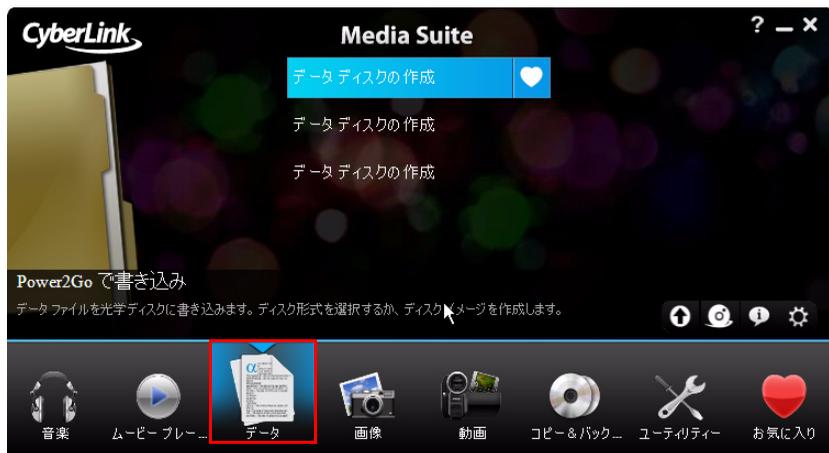
[設定]ウィンドウは、再生コントロールの  ボタンをクリックするか、キーボードの Ctrl + C を押すと表示されます。

注 : CyberLink PowerDVD の **設定** に関する詳細は、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

第 4 章：

データ

CyberLink Media Suite には、CyberLink Power2Go によるデータ ディスク作成を始めとした、さまざまな書き込み機能があります。

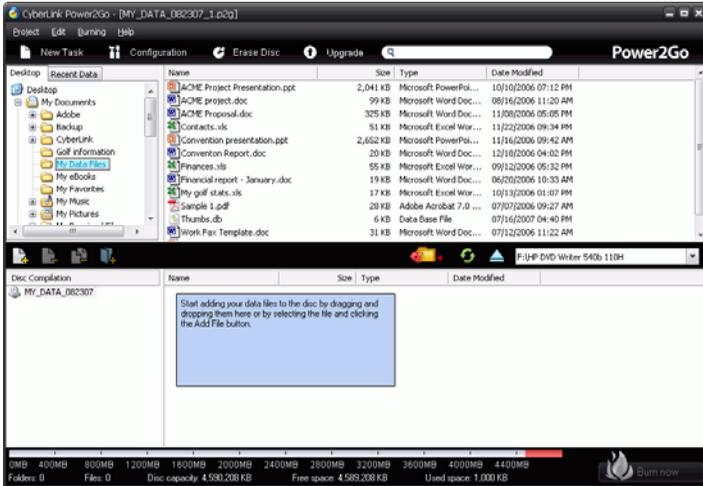


CyberLink InstantBurn でデータを Blu-ray ディスク、DVD、CD に書き込んだり、フォーマットすることもできます。

データ ディスクを作成する

データ ディスクの書き込みは、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go ウィンドウの [データ] メニューから、作成するデータディスクのタイプまたはディスクの形式を選択します。データディスクウィンドウが開きます。



2. 検索ペインを使ってディスクに書き込みたいファイルを選択します。[最近のデータ] タブから、CyberLink Media Library サービスを使って、最近追加または開いたデータファイルを検索します。
3. 書き込むファイルやフォルダを選択し、書き込み先ディスクにドラッグするか、 ボタンをクリックします。
4. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 をクリックします。
5. 必要に応じて、[データ]、[共通]、[書き込みドライブ] タブの設定を変更します。
6. 準備ができたなら、[書き込み] をクリックします。
7. 書き込みが完了したら、ダイアログボックスからオプションを選択して以下を行います。
 - [ログの表示] をクリックして、書き込みログを表示します。ログはデフォルトのテキストエディタで開き、見たり、保存したりします。

- ・ ディスクのラベルを印刷するには[ラベル印刷]をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。詳細は、69 ページの「ディスクラベルの印刷」を参照してください。
- ・ [OK] をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

ディスクをフォーマットする

CyberLink InstantBurn を使用すると、データをフォルダ単位やファイル単位でディスクにドラッグ&ドロップするだけで、簡単に DVD や CD に書き込むことができます。ディスクがいっぱいになるまで書き込むことができます。不要なファイルやフォルダをゴミ箱に入れて削除することもできます。

注: CyberLink DVD Suite をインストールしても、デフォルトでは CyberLink InstantBurn は、Windows Vista を搭載するコンピュータにはインストールされません。

データを DVD や CD にドラッグ&ドロップする前に、ディスクをフォーマットする必要があります。CyberLink InstantBurn はパケット書き込みのソフトウェアで、UDF (Universal Disc Format) 形式でフォーマットします。

注: InstantBurn でフォーマットしたディスクは、CyberLink Power2Go などのほかの書き込みソフトウェアで使用することはできません。

CyberLink InstantBurn でディスクをフォーマットするには、次の操作を行います。

1. フォーマットしていないブランクディスクをドライブにセットします。
2. CyberLink PowerStarter ウィンドウの[データ]メニューから、[ディスクのフォーマット]を選択します。InstantBurn のウィンドウが表示されません。
3. フォーマットするディスクをセットしたドライブを選択し、[次へ]をクリックします。
4. [プロパティ]をクリックして、ディスクのプロパティを確認します。内容が正しければ、[次へ]をクリックします。

5. ボリュームラベルを入力して、[完了]をクリックします。ボリュームラベルはディスクのフォーマット後に変更できます。
6. 確認のプロンプトが表示されたら、[OK]をクリックしてフォーマットを開始します。

InstantBurn の使い方

始める前に、[InstantBurn] アイコンが画面右下のシステムトレイに表示されていることを確認します。

アイコン	詳細
	CyberLink InstantBurn が実行されていますが、ドライブにディスクがセットされていない、またはセットされているディスクをフォーマットする必要があります。
	CyberLink InstantBurn が実行されており、すぐに使用できます。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスクへの書き込みを行う

1. [マイコンピュータ]を開いて、コピー先のディスクドライブアイコンを表示します。
2. コピーするファイルやフォルダを表示する別のウィンドウを開きます。ステップ 1 で開いたウィンドウにかぶっていないことを確認します。
3. ウィンドウのファイルやフォルダをクリックし、ディスクドライブアイコンにドラッグします。ファイル/フォルダがディスクにコピーされます。

対応するディスク

Instant Burn 5.0 は、リライタブル（書き換え可能）、およびライトワンス（1回限りの書き込み）メディアに対応します。CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE、BD-R ディスクに対応します。

第 5 章：

画像

CyberLink Media Suite の [画像] 機能では、CyberLink MediaShow を使って、画像の管理、編集、共有ができます。



画像をスライドショーに出力したり、様々な形式で印刷したり、スライドショー DVD を作成したりすることができます。

注：CyberLink MediaShow のプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

画像をインポートする

ハードドライブ、ディスク、リムーバブル デバイス中の画像は、簡単に CyberLink MediaShow にインポートすることができます。

CyberLink MediaShow に画像 (PowerPoint スライドを含む) をインポートするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[画像のインポート] を選択します。CyberLink MediaShow のインポート ウィンドウが表示されます。
2. [メディアのインポート] ボタンを選択して、インポートするメディアの保存場所を選択します。リムーバブルデバイス (デジタルカメラや他のデバイス)、光学ディスクドライブ、ハードドライブのフォルダーなど、接続デバイスに合わせて一覧から選択します。[画像] モジュールで [PowerPoint ファイルのインポート] を選択して、JPG ファイルに変換する PowerPoint ファイルを検索、インポートします。
3. インポートするソース、フォルダー、デバイス、ディスクのコンテンツなどを選択すると、インポート ウィンドウの [インポートトレイ] セクションに表示されます。メディアファイルを選択して、ウィンドウの [プレビュー] セクションでプレビューします。
4. [すべてインポート] をクリックして、インポートトレイ内の全メディアをインポートするか、インポートする特定のメディアファイルを選択して [選択してインポート] をクリックします。

注 : [重複を除く] を選択すると、以前ライブラリーにインポートされたメディアはインポートされません。

5. [メディアのインポート] ウィンドウに必要な情報 (ハードドライブのメディア保存場所など) を入力して [OK] をクリックします。
6. インポートが完了したら [完了] をクリックして、その後 [戻る] をクリックして CyberLink MediaShow のメイン画面に戻ります。

注 : メディア インポートのダイアログを非表示にして CyberLink MediaShow を使うには [バックグラウンドでインポート] を選択します。

画像を管理する

CyberLink MediaShow にすべての画像をインポートしたら、画像を整理して、スライドショーを作成したり、インターネットにアップロードしたりできます。フェイス タグ機能を使って、画像中の顔にタグを付けることもできます。

CyberLink MediaShow で画像を管理するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[画像の管理] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

ライブラリーを使用する

画像を CyberLink MediaShow にインポートすると、ライブラリーの画像フォルダーに自動的に振り分けられます。ライブラリー内のメディアは、アルバムと検索タグに分類されます。また、画像モジュールでは人毎にも分類分けできます。

ライブラリーは次の項目で構成されています。

- アルバム
- フォルダー
- タグ
- 人

アルバム

新しいアルバムを作成したり、既存のアルバムにメディアを追加したりして、整理したメディアはスクリーンセーバー、スライドショー、ムービー、ディスクなどに利用できます。

注: メディアを [お気に入り] に追加すると、アルバム内の [お気に入りメディア] フォルダーに自動的に配置されます。

お気に入り

CyberLink MediaShow を使って、お気に入りの画像を [お気に入り] に追加します。[お気に入り] にメディアを追加すると、アルバムの [お気に入りメディア] フォルダーに追加されます。このフォルダーのメディアを表示したり、スライドショー、ディスクに追加したり、友達や家族と共有することができます。

[お気に入り] にメディアを追加するには、次のいずれかを行います。

- メディア ウィンドウから追加するメディア ファイルを選択して、 ボタンをクリックします。
- スライドショーを再生時に、 ボタンをクリックします。

- メディアをアルバムの [**お気に入りメディア**] フォルダーにドラッグ&ドロップします。

フォルダー

メディアを CyberLink MediaShow にインポートすると、メディアは年別、対応フォルダー別に自動的に配置されます。

注：リムーバブルドライブおよび光学ディスクに保存されているメディアはこのフォルダー一覧に表示されません。

タグ

CyberLink MediaShow を使って、画像に検索タグを追加することができます。タグを追加することで、ライブラリー内の全メディアの検索が簡単にできます。さらに、メディアを Flickr や YouTube にアップロードする場合に、ユーザーがタグから興味のあるメディアを検索できるため便利です。

注：1つの画像に1つ以上のタグを追加できます。

人

画像の顔にタグ付けをすると、それらの画像はライブラリー内の [**人**] セクションに配置されます。

顔にタグを付ける

CyberLink MediaShow を使って、画像内のすべての顔にタグを付けることができます。手動または自動で画像内の顔にタグを付けることができます。顔にタグを付けると、ライブラリーの [**人**] セクションに人毎に配置されます。

自動で顔にタグを付ける

顔認識技術を使って、画像内の顔を自動で検出します。CyberLink MediaShow でまとめて顔を検出するには、次の操作を行います。

1. [**ホーム**] タブの [**フェイス タグ**] を選択します。

- フェイス タグを付けたい画像を選択します。ライブラリー内のすべての画像、または一部の画像 (指定したフォルダーや画像) を選択することができます。

注: コンピューターの VGA カードが CUDA に対応し、十分なりソースがある場合は、**[顔分析用に CUDA を有効にする]** を選択して、画像の分析時間を短縮します。

- 画像を選択したら、**[開始]** をクリックします。CyberLink MediaShow は顔の分析を開始します。

タグ付けした顔を整理する

顔のタグ付けが完了すると、**[フェイス タグ]** ウィンドウに顔のグループ分けがされます。顔写真を一枚一枚確認して、すでに登録した人から選択するか、新しい人を追加します。不必要なタグを削除したり、スキップして後から追加することもできます。

フェイス タグをグループ分けするには、次のいずれかを行います。

- **[選択]** をクリックして、一覧からその人の名前を選択します。
- **[選択]** を選択して **[新規]** をクリックして新規の人名を入力します。
- 人の名前が付いたボタンをクリックします。
- **[スキップ]** をクリックして後で作業を行います。
- **[削除]** をクリックして画像からタグを削除します。チェックボックスのチェックを外して画像からタグを削除することもできます。

人を編集する

[フェイス タグ] ウィンドウで、ライブラリーに新しい人を追加したり、個人情報編集したり、個人の他の画像を検索することもできます。

[フェイス タグ] ウィンドウでは、次の操作が行えます。

-  を選択して、個人情報の編集やデフォルト画像の設定をします。
-  を選択して、この人をライブラリーから削除します。
-  を選択して、このライブラリー内にあるこの人の画像をスキャンします。

手動で顔にタグを付ける

自動スキャンがうまくできなかった場合は、手動でも顔にタグ付けができます。

手動で顔にタグを付けるには、次の操作を行います。

1. アルバム、フォルダー、検索タグを選択するか、トレー内の全画像を選択・保留します。
2. [ホーム] タブの [編集] ボタンをクリックします。
3. サムネイルパネルの中から顔にタグを付ける画像を選択して、[フェイスタグ] を選択します。
4. [タグの追加] をクリックします。
5. 四角マークを顔のある場所にドラックします。
6. 必要に応じて四角のサイズを変更したら、[不明] をクリックします。
7. 一覧から適応する名前を選択するか、[新規] を選択してライブラリーに追加する新規の名前を入力します。
8. 他の画像でも同じ操作を行います。すべての顔にタグ付けができれば [完了] を選択します。

画像を補正する

CyberLink MediaShow には、スライドショーや印刷等向けに画像にエフェクトを追加したり、修正したり、様々な編集機能があります。

注：画像に加えた修正は簡単に元に戻すことができます。メディアウィンドウのアイテムを右クリックして、[変更を元に戻す] を選択します。[ログの編集] を使って、特定の変更内容に戻します。詳細は、46 ページの「編集ログを表示する」を参照してください。

画像を補正するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[画像の補正] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーから補正する画像を選択します。

注:異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、 ボタンをクリックしてトレーに保留します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。編集ウィンドウが表示されます。

画像を補正する

CyberLink MediaShow は、自動補正、赤目補正、画像クロップ機能など、画像を素早く補正するツールを搭載しています。[編集] タブから  ボタンをクリックし、次の画像補正を行います。

- **クロップ**: 画像をクロップして、余分な部分を切り取ります。[固定率] を選択して指定サイズで画像をクロップします。[反転] を選択して、補正部分のサイズを反転します (例: 「5 X 7」の場合は、「7 X 5」に変更)。
- **赤目**: 画像から不要な赤目を取り除きます。
- **傾き補正**: 傾いている画像を水平に補正します。
- **輝度自動調整**: 画像の明るさを自動調整します。
- **コントラスト自動調整**: 画像のコントラストを自動調整します。
- **バランス自動調整**: 画像の色バランスを自動調整します。
- **明暗自動補正**: 画像の明暗を自動補正します。

[完了] を選択して画像への変更内容を保存します。

画像を微調整する

画像の [輝度]、[コントラスト]、[彩度]、[ホワイトバランス] または [シャープネス] を手動で調整するには、[微調整] 機能を使用します。[編集] ボタンの  タブをクリックして、スライダーを使ってメディアファイルのプロパティを調整します。[完了] を選択して変更内容を保存します。

画像エフェクトを追加する

CyberLink MediaShow を使用すると、画像にディスプレイ エフェクトおよびカラー エフェクトを追加することができます。[編集] タブから  ボタンをクリックして、次のエフェクトを画像に追加します。

- **白黒**: カラー画像を白黒画像に変更します。

- **セピア** : 濃い灰褐色を加えて月日の経過した古い写真のような効果を加えます。
- **マット** : 画像にホワイト マット効果を追加します。フォーカスをクリックし、適用エリアにドラッグして、スライダーでサイズを設定します。
- **ビネット** : 古い無声映画のような効果を追加します。スライダーを使って、サイズを設定します。
- **ソフト フォーカス** : 画像にソフト フォーカス効果を追加します。[**サイズ**] スライダーでフォーカス エリアを調整し、[**ソフト**] スライダーでぼかし量を調整します。
- **白黒フォーカス** : 白黒写真の一部をカラーで表示します。スライダーを使って、カラー表示する部分を調整します。
- **テイント** : 画像に新しい色を追加します。好きな色を選び、スライダーを使って強弱を調整します。
- **グロー** : 画像の明るい部分全体に光沢を追加します。
- **アンティーク** : 50 年前に撮影した古い写真のようにします。

[**完了**] を選択して画像への変更内容を保存します。

編集ログを表示する

[**編集**] ボタンから  タブをクリックするか、直接 [**ログの編集 ***] ボタンをクリックして、画像に行った編集履歴を表示します。

[**元のファイル**] を選択して、メディア ファイルに行った変更をすべて元に戻します。編集ログ中のアイテムを選択して、不要な変更内容をリセットすることもできます。

注 : ** CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

スライドショーを再生する

CyberLink MediaShow のライブラリーから、スライドショーを簡単に再生することができます。フォト スライドショーを再生するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[スライドショーの再生] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーからスライドショーに加える画像を選択します。

注：異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、



ボタンをクリックしてトレーに保留します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。スライドショーは自動的に再生されません。

スライドショーを再生時に利用可能なコントロールは次の通りです。

ボタン 機能



スライドショーを停止して、メイン ウィンドウに戻ります。



スライドショーを再生中にこのボタンを押して、好みのスライドショーのスタイルを選択します。スライドショーのスタイルに関する詳細は、48 ページの「[スライドショー] の環境設定」を参照してください。



このボタンをクリックして、メディア ファイルの再生設定を構成します。メディアの再生速度を選択したり、スライドショー再生中に [キャプションの表示] をするかどうかを設定します。スライドショーを繰り返し再生するには [リピート] を、画像をランダムに再生するには [ランダム] を選択します。スライドショーの再生中に [BGM の選択] をクリックして BGM に使う曲を選択します。[BGM の長さに合わせる] をクリックすると、BGM の長さに合わせてスライドショーを再生します。セルスライドショーを再生時に、[スライドショーのオープニングを変更] を選択して、スライドショー最初のオープニング ページを変更します。



前に再生した画像に戻ります。

ボタン 機能



スライドショーの再生を開始します。



スライドショーの再生を一時停止します。



スライドショーの次の画像に移動します。



[お気に入り] ボタンをクリックして、画像をお気に入りに追加 / 削除します。



画像を左に回転します。



画像を右に回転します。



[編集] ウィンドウを開いて、表示中の画像を編集します。



画像を表示中にこのボタンを押して、[スライドショー エディター] でスライドショーを変更します。この機能の詳細は、24 ページの「スライドショーの作成とカスタマイズを行う」を参照してください。



スライドショーの音量を調整します。

スライドショーを作成する

CyberLink MediaShow を使って、画像を含むスライドショーを作成、カスタマイズすることができます。スタイルを選択したり、BGM、テキスト、カラーボードを追加することもできます。

スライドショーの作成、カスタマイズを行うには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[スライドショーの作成] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーからスライドショーに加える画像を選択します。

注:異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、 ボタンをクリックしてトレーに保留します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。スライドショー エディターが表示されます。
4. スライドショーを編集するには、次の操作を行います。
 - 必要に応じて、[回転] ボタンを使って画像を回転します。
 - [追加 / 変更] を選択して、次のようにメディアを追加 / 変更します。
 - [動画] タブを選択して、スライドショーに追加する動画クリップを検索します。
 - [画像] タブを選択して、スライドショーに追加する画像を検索します。
 - [カラーボード] タブを選択して、新しいスライド (カスタムの背景色) を追加します。カラーボードはスライドショーの間に挿入したり、タイトルやクレジット用に使います。カラーパネルからカラーボードの色を選択して、[カラーボードの追加] をクリックします。
 - スライドショー用のメディアをすべて追加したら、画像を新しい位置にドラッグして再生順序を変更します。 を選択して、日付または名前順に配置することもできます。
 - [デザイン] から [スライドショーのスタイル] タブを選択して、次のようにスライドショーのスタイルを設定します。
 - [スライドショースタイル] の一覧から、スライド間のトランジションを選択します。
 - スライドショーの [アスペクト比] を選択します。スライドショーに含まれるメディアのアスペクト比と同じ比率を選んでください。
 - [スライドショーオープニングページを有効にする] オプションを選択すると、スライドショーの最初の部分にオープニングページとテキストが追加できます。

注：スライドショーのオープニング ページが無効になっている場合は、スライドショーエディターから[スライドショー オープニング ページを有効にする]を選択して、スライドショー オープニング ページを追加します。

- [説明文をデフォルト テキストとして使う]を選択すると、テキストをスライドに追加する場合、メディア ファイルの説明文を使用します。
- [表示時間]には、各スライドの表示時間を入力します。ただし、スライドショーに含まれる動画クリップの再生時間は変わりません。

注：[スライドショーエディター]の[プロパティ]ボタンからも、各スライドのトランジションおよび表示時間をカスタマイズすることができます。

- [デザイン]から[スライドショー音楽]タブを選択して、スライドショーのBGMを設定します。詳細は、51 ページの「[スライドショー音楽]の設定」を参照してください。
- [テキストの追加]を選択して、スライドに文字を追加します。キーボードを使ってテキストを入力するか、全スライドのデフォルト テキストを変更します。
 - テキスト フォントのプロパティを変更するには  を選択します。
 - スライドショーのテキスト エフェクトを変更するには  を選択します。
 - スライドのテキストをプレビューするには  を、削除するには  を選択します。
- 必要に応じて[プロパティ]からトランジションおよび表示時間をカスタマイズします。スライドショー内の動画は、[サウンド ミックス]のスライダーを使ってBGM と動画の音声のレベルを調整します。元の動画音声をミュートする場合は、スライダーを[音楽]側にドラッグします。
- 5. スライドショーを編集集中に、再生コントロールを使ってスライドショーをプレビューします。保存して後で編集するには[保存]を選択します。

スライドショー DVD を作成する

CyberLink MediaShow を使って、画像を含むプロ級のディスクを作成することができます。

スライドショー DVD を作成するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [**画像**] メニューから、[**スライドショー DVD の作成**] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーからスライドショー DVD に加える画像を選択します。

注：異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、 ボタンをクリックしてトレイに保留します。

3. [**次へ**] ボタンをクリックします。ディスク作成ウィンドウが表示されません。

ディスク作成ウィンドウ

[**ディスク作成**] ウィンドウのウィザードに従って、ディスク作成を行います。

注：ディスクの作成を始める前に、[**ディスク作成**] の設定を行う必要があります。

タイトルを入力する

[**タイトル**] のフィールドにディスクのメイン メニュー ページに表示されるタイトルを入力します。

スタイルを選択する

CyberLink MediaShow には、ディスク メニューのテンプレートが複数搭載されています。これらのメニューはあらかじめカスタマイズされており、モーションやメニュー音楽などの機能が付いています。メニュー テンプレートを選択するには、サムネイルをクリックします。

注：DirectorZone のサイトからその他のメニューテンプレートをダウンロード、インポートすることもできます。[スタイル]セクションから  アイコンを選択し、Web サイトからメニューテンプレートを検索、ダウンロードします。  を選択して、ダウンロードしたテンプレートを CyberLink MediaShow にインポートします。

画像を追加する

必要に応じて、画像をディスクに追加することができます。ディスクに追加すると、スライドショーとして保存されます。画像をディスクに追加するには、次の操作を行います。

1. ウィンドウ左側の [画像] タブをクリックします。
2. ライブラリー内を検索し、ディスクに書き込む画像をすべて選択します。
3. [画像] セクションにドラッグ&ドロップするか、[追加] ボタンを使用します。
4. [スタイルと音楽] ボタンをクリックして、次のようにスライドショーをカスタマイズします。
 - **スライドショーのスタイル**: [スタイル] のドロップダウンメニューから、スライドショーのスタイル ([フェーディング]、[モーション]、[セル]) を選択します。(各スライドショーのスタイルの詳細については、48 ページの「[スライドショー] の環境設定」を参照してください。)[スピード] のドロップダウンメニューから、画像の表示速度を選択します。
 - **スライドショーのオープニングを変更**: [セル] スライドショーを選択した場合に、このボタンをクリックして、スライドショーオープニングページのタイトルと作成者を入力します。
 - **BGM**: スライドショーの BGM を設定します。詳細は、51 ページの「[スライドショー音楽] の設定」を参照してください。
5. [OK] をクリックして [ディスク作成] ウィンドウに戻ります。
- 6.

ディスクに書き込む

最後に、[書き込み]ボタンをクリックして、メディアのディスクへの書き込みを開始します。書き込む前に、[プレビュー]ボタンをクリックして、作成内容を確認します。

既存のディスクプロジェクトの保存と開く

ディスクの作成は、一度にすべて行う必要はありません。ディスクプロジェクトはいつでも[保存]できます。保存したプロジェクトは、[開く]をクリックして、後で完成させることができます。

画像を印刷する

CyberLink MediaShow を使うと、画像をさまざまな大きさに印刷することができます。

画像を印刷するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[画像の印刷] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーから印刷する画像を選択します。

注：異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、 ボタンをクリックしてトレーに保留します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。印刷ウィンドウが表示されます。
4. 印刷オプションを次のように設定します。
 - **レイアウト**：画像を印刷するレイアウトをします。各種サイズから選べます。また、複数の画像を1枚の紙に印刷することもできます。
 - **プリンター**：画像を印刷するプリンターをドロップダウンメニューから選択します。
 - **フィット**：印刷範囲に合わせて画像のサイズを縮小するか、画像をクロップするかを選択します。

- ・ **プリンターの設定** : このボタンをクリックして、ページレイアウトや両面印刷の指定など、特定のプリンター オプションを設定します。オプションは接続しているプリンターによって異なります。
 - ・ **画像のコピー数** : 各画像の印刷枚数を入力します。
5. [印刷] ボタンをクリックして画像の印刷を開始します。

画像をアップロードする

CyberLink MediaShow を使って、ライブラリー内の画像を友達や家族に直接メール送信することができます。また、Flickr、Facebook にアップロードすることもできます。

Flickr に画像をアップロードする

ライブラリーから画像を Flickr 写真共有 Web サービスに直接アップロードできます。

Flickr に画像をアップロードするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [画像] メニューから、[Flickr にアップロード] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーからアップロードする画像を選択します。

注 : 異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、 ボタンをクリックしてトレイに保留します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。[Flickr にアップロード] ウィザードが表示されます。
4. ウィザードに従って続行し、[アップロード] をクリックします。

注 : Flickr のアカウントがない場合は、認証する前に登録する必要があります。

5. 画像のアップロードが完了したら [完了] ボタンをクリックします。

Facebook に画像をアップロードする

ライブラリーから画像を Facebook のページに直接アップロードできます。

Facebook に画像をアップロードするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [**画像**] メニューから、[**Facebook にアップロード**] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する画像を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーからアップロードする画像を選択します。

注：異なるフォルダー中の複数の画像を含みたい場合は、使用する画像を選択し、 ボタンをクリックしてトレイに保留します。

3. [**次へ**] ボタンをクリックします。[**Facebook にアップロード**] ウィザードが表示されます。

注：[**認証**] ボタンをクリックしたら、お使いのブラウザーで Facebook にログインする必要があります。その後、アップロード ウィザードに戻って Facebook に画像をアップロードする認証プロセスを完了してください。Facebook のアカウントがない場合は、認証する前に登録する必要があります。

4. ウィザードに従って続行し、[**アップロード**] をクリックします。
5. 画像のアップロードが完了したら [**完了**] ボタンをクリックします。

第6章：

動画

CyberLink Media Suite の [動画] 機能では、CyberLink PowerProducer を使って、動画コンテンツのキャプチャーやビデオ ディスクの作成など、多様な作業が行えます。



また、CyberLink PowerDirector で動画の編集をしたり、CyberLink MediaShow で管理したり、動画の補正や共有ができます。

注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

動画をインポートする

ハード ドライブ、ディスク、リムーバブル デバイス、カムコーダー中の動画は、簡単に CyberLink MediaShow にインポートすることができます。

動画ファイルをインポートする

CyberLink MediaShow に動画をインポートするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画のインポート] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. [メディアのインポート] ボタンを選択して、インポートするメディアの保存場所を選択します。リムーバブル デバイス (デジタル カメラや他のデバイス)、光学ディスクドライブ、ハード ドライブのフォルダーなど、接続 デバイスに合わせて一覧から選択します。
3. インポートするソース、フォルダー、デバイス、ディスクのコンテンツなどを選択すると、インポート ウィンドウの [インポートトレイ] セクションに表示されます。メディア ファイルを選択して、ウィンドウの [プレビュー] セクションでプレビューします。
4. [すべてインポート] をクリックして、インポートトレイ内の全メディアをインポートするか、インポートする特定のメディア ファイルを選択して [選択してインポート] をクリックします。

注 : [重複を除く] を選択すると、以前ライブラリーにインポートされたメディアはインポートされません。

5. [メディアのインポート] ウィンドウに必要な情報 (ハード ドライブのメディア保存場所など) を入力して [OK] をクリックします。
6. インポートが完了したら [完了] をクリックして、その後 [戻る] をクリックして CyberLink MediaShow のメイン画面に戻ります。

注 : メディア インポートのダイアログを非表示にして CyberLink MediaShow を使うには [バックグラウンドでインポート] を選択します。

DV または HDV カムコーダーからインポートする

DV または HDV カムコーダーから動画をキャプチャーしてインポートするには、次の操作を行います。

注: この手順では、IEEE (firewire) ケーブルに接続したカムコーダーから動画をキャプチャーおよびインポートする方法を説明します。カムコーダーがコンピュータにUSB 接続されている場合は、[**メディアのインポート**] をクリックし、一覧から使用するカムコーダーを選択して、動画ファイルを直接インポートします。

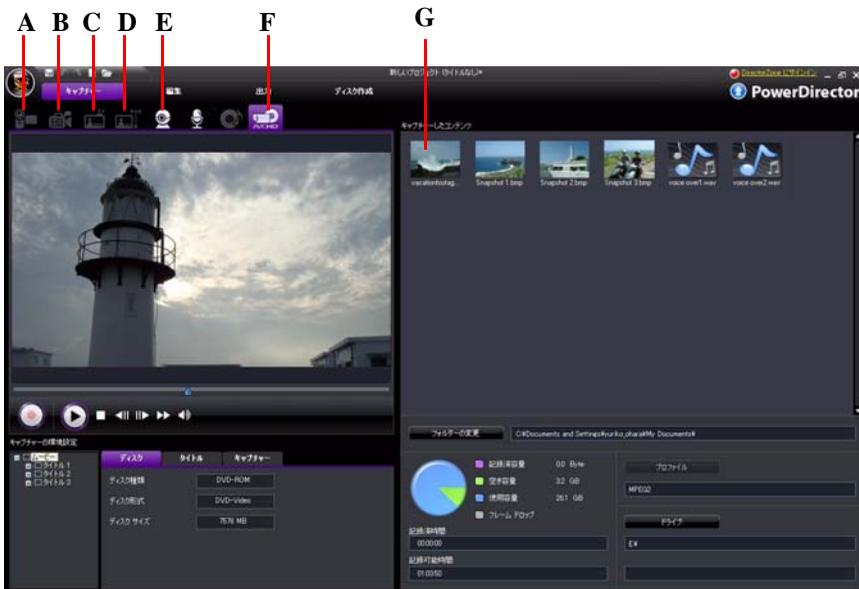
1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [**動画**] メニューから、[**動画のインポート**] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2.
 - [**DV からインポート**] をクリックし、ドロップダウンリストからカムコーダーを選択し、DV カムコーダーから動画をインポートします。
 - [**HDV からインポート**] をクリックし、ドロップダウンリストからカムコーダーを選択し、HDV カムコーダーから動画をインポートします。
3.
 - カムコーダー内の動画をすべてキャプチャーしてインポートするには、[**すべてインポート**] を選択します。
 - 動画を部分的にキャプチャーしてインポートするには、再生コントロールでキャプチャーする開始位置を指定し [**インポート開始**] を選択します。
4. [**メディアのインポート**] ウィンドウに必要な情報 (ハードドライブの動画保存場所など) を入力して [OK] をクリックします。
5. キャプチャーを中断するには [**インポート停止**] を選択します。
6. キャプチャーされた動画は [**インポートトレイ**] に表示され、自動的にメディアライブラリーにインポートされます。

動画をキャプチャーする

CyberLink PowerDirector を使うと、ウェブカメラ、テレビ信号、DVD などから動画をキャプチャーすることができます。DV/HDV カムコーダーからさらに高度なキャプチャーも行うことができます。

CyberLink PowerDirector で動画をキャプチャーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画のキャプチャー] を選択します。CyberLink PowerDirector のキャプチャーウィンドウが表示されます。



- A - DV カムコーダーからキャプチャー、B - HDV カムコーダーからキャプチャー、C - TV 信号からキャプチャー、D - デジタルTV 信号からキャプチャー、E - ウェブカメラからキャプチャー、F - DVD または AVCHD カムコーダーからキャプチャー、G - キャプチャーしたコンテンツ

DV カムコーダーからのキャプチャー



人気の DV カムコーダーはデジタル形式で録画するタイプで、使用する際に変換する必要はありません。DV カムコーダーからのキャプチャーは、シーンひとつでも、シーンをまとめて一括でも行うことができます。

注：DV カムコーダーを USB でコンピューターに接続する場合は、動画ファイルを直接インポートする必要があります。動画ファイルのインポートについては、58 ページの「動画ファイルをインポートする」を参照してください。

1 シーンのキャプチャー

カムコーダーから 1 シーンをキャプチャーできます。この機能は、長時間の 1 映像シーンをスキップなしでキャプチャーする場合に、特に便利です。

DV のバックアップ

PowerDirector の DV バックアップ* 機能を使うと、DV カムコーダーから DVD に、直接デジタル映像のバックアップを取ることができます。 ボタンをクリックして、動画のバックアップを開始します。

DV カムコーダーからのバッチ キャプチャー (一括取り込み)

バッチ キャプチャー (一括取り込み) は、複数の動画クリップを自動的にキャプチャーし、作業にかかる時間を短縮できる便利な機能です。DV カメラで間隔を検索し (手動での設定も可能)、作成した間隔でバッチ キャプチャーします。

自動バッチ キャプチャー

自動バッチ キャプチャーはビデオ テープのシーンを素早く取り込む機能です。



ボタンをクリックして、自動バッチ キャプチャー機能にアクセスします。

手動バッチ キャプチャー

手動バッチ キャプチャー* では、より詳細な設定が行えるので、取り込みたいシーンを確実にキャプチャーできます。キャプチャーするシーンの位置が分

かっている場合は、手動バッチキャプチャーの使用をお勧めします。 ボタンをクリックして、手動バッチキャプチャー機能にアクセスします。

HDV カムコーダーからのキャプチャー



HDV カムコーダーは高画質デジタル形式で録画するタイプで、使用する際に変換する必要がありません。HDV カムコーダーから直接 PowerDirector に映像がキャプチャーできます。

注：HDV カムコーダーを USB でコンピューターに接続する場合は、動画ファイルを直接インポートする必要があります。動画ファイルのインポートについては、58 ページの「動画ファイルをインポートする」を参照してください。

TV 信号からのキャプチャー



TV 番組の映像を作品に挿入したり、録画することができます。

デジタル TV 信号からのキャプチャー



デジタル TV 番組の映像を作品に挿入したり、録画することができます。

注：デジタル TV の仕様により一部の国・地域ではご利用いただけません。

ウェブカメラからのキャプチャー



ウェブカメラは、シンプルな映像を取り込むのに便利なカメラです。

DVD からのキャプチャー



DVD から映像シーン（音声も含む）をキャプチャーすることができます。

注: ディスクによっては、キャプチャーできないようにコンテンツが保護されている物もあります。

AVCHD カムコーダーからのキャプチャー



AVCHD カムコーダーは高画質デジタル形式で録画するタイプで、使用する際に変換する必要がありません。AVCHD カムコーダーから直接 CyberLink PowerDirector に映像がキャプチャーできます。

注: AVCHD カムコーダーを USB でコンピューターに接続する場合は、動画ファイルを直接インポートする必要があります。

キャプチャーしたコンテンツ

キャプチャーウィンドウでキャプチャーしたすべてのメディアは、ライブラリー(キャプチャー)に表示されます。[編集]ウィンドウに戻ると、ライブラリー(キャプチャー)のすべてのメディアはメディアルームのライブラリーに自動的にインポートされます。

ライブラリー(キャプチャー)で、メディアを右クリックすると、動画クリップ中のシーン検出、不要なコンテンツの削除ができ、[編集]ウィンドウにインポートされません。

[**フォルダーの変更**]ボタンを選択して、キャプチャーするメディアの保存フォルダーを指定します。

動画を管理する

CyberLink MediaShow にすべての動画をインポートしたら、動画を整理して、編集や書き込みをしたり、インターネットにアップデートしたりできます。

CyberLink MediaShow で動画を管理するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画の管理] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されま

す。

ライブラリーを使用する

動画を CyberLink MediaShow にインポートすると、ライブラリーの動画フォルダーに自動的に振り分けられます。ライブラリー内のメディアは、アルバムと検索タグに分類されます。

ライブラリーは次の項目で構成されています。

- アルバム
- フォルダー
- タグ

アルバム

新しいアルバムを作成したり、既存のアルバムにメディアを追加したりして、整理したメディアはスクリーンセーバー、スライドショー、ムービー、ディスクなどに利用できます。

注：メディアを [お気に入り] に追加すると、アルバム内の [お気に入りメディア] フォルダーに自動的に配置されます。

お気に入り

CyberLink MediaShow を使って、お気に入りの動画を [お気に入り] に追加します。[お気に入り] にメディアを追加すると、アルバムの [お気に入りメディア] フォルダーに追加されます。このフォルダーのメディアを表示したり、スライドショー、ディスクに追加したり、友達や家族と共有することができます。[お気に入り] にメディアを追加するには、次のいずれかを行います。

- ・ メディア ウィンドウから追加するメディア ファイルを選択して、 ボタンをクリックします。
- ・ スライドショーまたは動画を再生時に、 ボタンをクリックします。
- ・ メディアをアルバムの[お気に入りメディア]フォルダーにドラッグ&ドロップします。

フォルダー

メディアを CyberLink MediaShow にインポートすると、メディアは年別、対応フォルダー別に自動的に配置されます。

注：リムーバブルドライブおよび光学ディスクに保存されているメディアはこのフォルダー一覧に表示されません。

タグ

CyberLink MediaShow を使って、動画に検索タグを追加することができます。タグを追加することで、ライブラリー内の全メディアの検索が簡単にできます。さらに、メディアを Flickr や YouTube にアップロードする場合に、ユーザーがタグから興味のあるメディアを検索できるため便利です。

注：1つの動画に1つ以上のタグを追加できます。

動画を補正する

CyberLink MediaShow には、動画クリップから不要部分をトリミングしたり、補正したり、様々な編集機能があります。

注：動画に加えた修正は簡単に元に戻すことができます。メディア ウィンドウのアイテムを右クリックして、[変更を元に戻す]を選択します。[ログの編集]を使って、特定の変更内容に戻します。詳細は、67 ページの「編集ログを表示する」を参照してください。

動画を補正するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画の補正] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. 使用する動画を含むフォルダーを選択するか、ライブラリーから補正する動画を選択します。

注：異なるフォルダー中の複数の動画を含みたい場合は、使用する動画を選択し、 ボタンをクリックしてトレーに保留します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。編集ウィンドウが表示されます。

動画をトリミングする

動画の [編集] ウィンドウから [トリム] を選択すると、ムービーまたはスライドショーの不要部分をカットすることができます。トリム機能の詳細は、インターフェイスのヒントを参照してください。

動画を補正する

CyberLink MediaShow は、明暗補正、手ぶれ映像補正、オーディオ・ビデオ ノイズ低減など、動画を素早く補正するツールを搭載しています。[編集] タブから  ボタンをクリックして、次の動画補正を行います。

- **手ぶれ映像の補正** : 手ぶれ映像を自動補正します。
- **明暗自動補正** : 動画の明暗を自動補正します。
- **ビデオ ノイズ低減** : 動画クリップ中のビデオ ノイズおよびブロック ノイズを低減します。
- **オーディオ ノイズ低減** : このオプションを使用して、オーディオトラックの背景ノイズを低減します。スライダーをドラッグして、ノイズの低減レベルを設定します。

動画の補正をすべて終えたら、次のオプションを選択します。

- [選択した補正のプレビュー] を選択して、補正後の動画をプレビューします。
- 補正内容を適用する場合は、[選択した補正の適用] を選択します。

動画を微調整する

[輝度]、[コントラスト]、[彩度]、[ホワイトバランス]または[シャープネス]を手動で調整するには、[微調整]機能を使用します。[編集]ボタンの  タブをクリックして、スライダーを使ってメディアファイルのプロパティを調整します。[完了]を選択して変更内容を保存します。

編集ログを表示する

[編集]ボタンから  タブをクリックするか、直接[ログの編集*]ボタンをクリックして、動画に行った編集履歴を表示します。

注：* CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

[元のファイル]を選択して、メディアファイルに行った変更をすべて元に戻します。編集ログ中のアイテムを選択して、不要な変更内容をリセットすることもできます。

動画を編集する

CyberLink PowerDirector を使うと、お持ちの動画ファイルをプロ並みの作品に編集することができます。

CyberLink PowerDirector で動画を編集するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画の編集]を選択します。CyberLink PowerDirector の編集ウィンドウが表示されます。
2.  をクリックして、メディアをメディアルームのライブラリーにインポートします。以下の2つのオプションのうちいずれかを行います。
 - メディアファイルを個別にインポートする。
 - 使用するメディアファイルを含むフォルダ全体をインポートする。

注：[**動画のインポート**] で CyberLink MediaShow にインポートされた動画は、CyberLink PowerDirector には自動的にインポートされません。メディアのインポート ウィンドウで指定したフォルダーを検索し、ファイルまたはフォルダーを選択する必要があります。

3. ムービーの編集を続行します。必要に応じて、追加メディアは Flickr および Freesound から、カスタムエフェクトおよびタイトルは DirectorZone からダウンロードすることができます。

注：CyberLink PowerDirector の動画編集に関する詳細は、編集ウィンドウからキーボードの F1 キーを押してください。ヘルプファイルの「PowerDirector **作業領域**」および「**ストーリーを作成する**」を参照してください。

動画を変換する

CyberLink MediaShow ビデオ コンバーターは、動画ファイルを他の形式に変換する便利なモジュールです。変換したファイルは iPod?*iPhone?*PSP?*PS3?*Zune?Xbox など再生可能になります。変換したファイルを他の形式に変換することもできます。

注：* CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

iPod/iPhone 対応形式に変換する

注：* CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

すべての動画ファイルを iPod/iPhone の形式に変換することができます。その後、変換した動画を iTunes にインポートすることができます (コンピューターに iTunes がインストールされている場合)。

iPod/iPhone の形式にファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go ウィンドウの [動画] メニューから、[動画の変換] を選択します。ビデオコンバーターのウィンドウが表示されます。
2. 変換する動画ファイルを右クリックして [iPod 対応ファイルに変換] を選択します。
3. ドロップダウンメニューから、再生したい動画ファイルを選択します。
4. ドロップダウンメニューから、解像度およびアスペクト比 (4:3 または 16:9) を選択します。
5. ファイルを1つのみ変換する場合は、ファイルの名前を入力します。
6. 必要に応じて  をクリックして、他の出力フォルダーを選択します。
7. 変換したファイルを iTunes にインポートする場合、[変換したファイルを iTunes ライブラリーにインポート] オプションを選択します (コンピューターに iTunes がインストールされている場合)。
8. コンピューターが CUDA/ATI 対応の場合は、[CUDA/ATI を有効にしてパフォーマンスを最適化する] を選択して、動画ファイルの変換時間を短縮します。
9. [OK] をクリックして、変換を開始します。
10. [変換したファイルを iTunes ライブラリーにインポート] が選択されている場合、[iTunes に追加] ボタンをクリックして、ファイルを iTunes にインポートします。または、[OK] をクリックして [ビデオコンバーター] のメインウィンドウに戻ります。

注：コンピューターに iTunes がインストールされていない場合は、変換したファイルは指定した出力フォルダーに保存されます。

Sony PSP/PS3 対応形式に変換する

注：* CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

すべての動画ファイルを Sony PSP/PS3 の形式に変換することができます。

Sony PSP/PS3 の形式にファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画の変換] を選択します。動画変換のウィンドウが表示されます。
2. 変換する動画ファイルを右クリックして [PSP/PS3 対応ファイルに変換] を選択します。
3. ドロップダウンメニューから、再生する動画ファイルを [PSP (PSP-Video)] または [PS3] から選択します。
4. ドロップダウンメニューから、解像度およびアスペクト比 (4:3 または 16:9) を選択します。
5. ファイルを1つのみ変換する場合は、ファイルの名前を入力します。
6. 必要に応じて  をクリックして、他の出力フォルダーを選択します。
7. コンピューターが CUDA/ATI 対応の場合は、[CUDA/ATI を有効にしてパフォーマンスを最適化する] を選択して、動画ファイルの変換時間を短縮します。
8. [OK] をクリックして、変換を開始します。
9. [OK] をクリックしてメインウィンドウに戻ります。

他の形式に変換する

動画を他の形式 (WMV、MPEG-2、MPEG-4 (H.264)) に変換することもできます。

注：* CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

動画を MPEG-4 (H.264)、MPEG-2、WMV ファイルに変換するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[動画の変換] を選択します。動画変換のウィンドウが表示されます。
2. 変換する動画を選択して [次へ] をクリックします。
 1. 対応するボタンをクリックして、出力形式を選択します。
 2. ドロップダウンメニューから、解像度およびアスペクト比 (4:3 または 16:9) を選択します。
 3. 変換するファイルの名前を入力します。
 4. ファイルを MPEG-4 (H.264) または MPEG-2 形式に変換する場合は、[音声形式] のドロップダウンメニューから、動画音声の形式を選択します。

5. 必要に応じて  をクリックして、他の出力フォルダー(出力ファイル用)を選択します。
6. コンピューターがCUDA/ATI 対応の場合は、[CUDA/ATI を有効にしてパフォーマンスを最適化する]を選択して、動画ファイルの作成時間を短縮します。
7. [OK] をクリックして、出力を開始します。

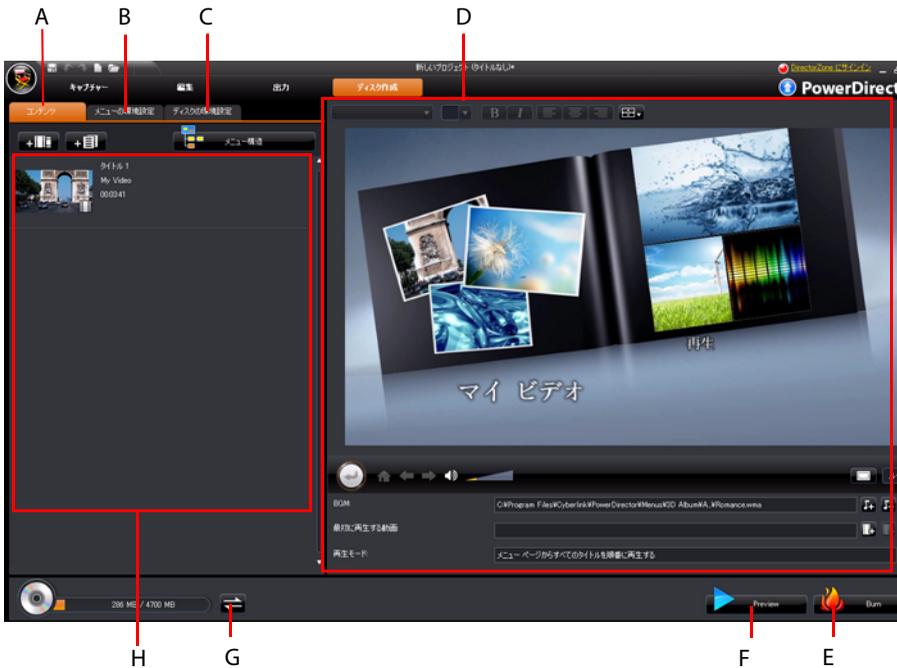
動画をカスタムプロファイルの形式に出力するには、次の操作を行います。

1. Select the Convert Video function within the Video menu of CyberLink PowerStarter. The Convert Videos window displays.
2. Select the videos you want to convert, and then click Next.
3.  をクリックし、[新規] をクリックして、カスタムウィンドウを開きます。
4. カスタムプロファイルの[プロファイル名]を入力します。
5. [形式]のドロップダウンメニューから、変換するファイルの形式を選択します。
6. [解像度]のドロップダウンメニューから、解像度およびアスペクト比(4:3 または 16:9)を選択します。
7. [ビットレート]のドロップダウンメニューから、動画のビットレートまたは画質を選択します。
8. [形式]のドロップダウンメニューから、動画に適用する音声圧縮形式を選択します。
9. [ビットレート]のドロップダウンメニューから、動画に適用する音声圧縮率または音質を選択します。
10. 変換するファイルの名前を入力します。
11. 必要に応じて  をクリックして、他の出力フォルダー(変換ファイル用)を選択します。
12. コンピューターがCUDA/ATI 対応の場合は、[CUDA/ATI を有効にしてパフォーマンスを最適化する]を選択して、動画ファイルの作成時間を短縮します。
13. [OK] をクリックして、出力を開始します。

注：動画ファイルを出力すると、作成したカスタム プロファイルは保存され、次回動画ファイルを変換する場合にこのプロファイルを使用することができます。このプロファイルは[カスタム プロファイル]に表示されます。

ビデオ ディスクを作成する

動画作品の作成が完了したら、CyberLink PowerDirector から簡単な手順で CD、DVD、Blu-ray ディスク * にメニューを付けて書き込むことができます。他の動画や CyberLink PowerDirector のプロジェクトをインポートして、マルチレイヤーのプロ品質のディスクも作成できます。



A- ディスク コンテンツ タブ、B- メニューの環境設定タブ、C- ディスクの環境設定タブ、D- ディスク メニュー プロパティ、E- ディスクに書き込み、F- ディスク メニューのプレビュー、G- ディスク切り替え、H- ディスク コンテンツ

注: * CyberLink Media Suite の Ultra および Pro バージョンでのみご利用いただけます。

CyberLink PowerDirector で動画を作成するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの **[動画]** メニューから、**[ビデオ ディスクの作成]** を選択し、作成するディスクの形式を選択します。
CyberLink PowerDirector のディスク作成ウィンドウが表示されます。

2. **[コンテンツ]** タブで行える設定は次の通りです。

-  をクリックして、ディスクに含む動画をインポートします。
-  をクリックして、ディスクに含む CyberLink PowerDirector のプロジェクトをインポートします。
- **[メニュー構造]** ボタンをクリックして、ディスク メニューのツリー構造を表示します。このツリー構造は、ディスクのすべてのタイトルを含み、チャプターも表示されます。

ディスク メニューに含む CyberLink PowerDirector のプロジェクトをすべてインポートしたら、次の機能を実行します。

-  をクリックして、選択したタイトルを再生します。
 -  をクリックして、ディスク メニューから選択したタイトルを削除します。
 -  をクリックして、**[編集]** モジュールで選択したタイトルを編集します。
 -  をクリックして、選択したタイトルのチャプターを表示 / 設定 / 編集します。
3. **[メニューの環境設定]** タブをクリックして、既存のディスク メニューを編集したり、他のメニュー テンプレートを選択します。**[ダウンロード]** ボタンを選択して、DirectorZone のサイトからディスク メニュー テンプレートをダウンロードします。
 4. 必要に応じてディスク メニューをカスタマイズします。

注：CyberLink PowerDirector のディスク メニューに関する詳細は、ディスク作成ウィンドウからキーボードの F1 キーを押してください。ヘルプ ファイルの「**ディスクを作成する**」を参照してください。

5. **[書き込み]** ボタンをクリックして、ディスクに動画とカスタマイズしたメニューを書き込みます。

HDV/DV ビデオの書き込みを行う

ビデオコンテンツを DV または HDV カムコーダーから、直接 DVD や Blu-ray ディスクに書き込むことができます。ハードドライブにいったん保存する必要はありません。

CyberLink PowerProducer を使って HDV/DV ビデオを直接ディスクに書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの **[動画]** メニューから、**[HDV/DV ビデオの書き込み]** を選択します。CyberLink PowerProducer のウィンドウが表示されます。
2. 使用するディスクを挿入し、正しいドライブが選択されていることを確認します。
3. **[最大速度]** ドロップダウンリストで書き込み速度を選択します。
4. ドロップダウンリストでターゲットのディスク形式を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. **[録画]** をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注：DV または HDV カメラがオンになっていることを確認し、VCR/カメラモードに設定すると CyberLink PowerProducer が認識します。

6. 必要に応じて、 を設定してデバイスを設定します。
7. 必要に応じて、設定項目を設定します。
8. 必要に応じて、**[詳細]** タブをクリックし、ディスクまたはビデオの設定を表示 / 設定します。

9. [詳細] タブの  をクリックして、ディスクのメニューのカスタマイズを行います。
10. [開始] をクリックして書き込みを開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

動画をアップロードする

CyberLink MediaShow ライブラリーから YouTube および Facebook にアップロードすることで、お持ちの動画を友達や家族と共有することができます。

YouTube に動画をアップロードする

ライブラリーから動画を YouTube 動画共有 Web サービスに直接アップロードできます。

YouTube に動画をアップロードするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[YouTube にアップロード] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。
2. ライブラリーからアップロードする動画を選択します。
3. [次へ] ボタンをクリックします。[YouTube にアップロード] ウィザードが表示されます。
4. ウィザードに従って続行し、[アップロード] をクリックします。

注: YouTube のアカウントがない場合は、認証する前に登録する必要があります。

5. 動画のアップロードが完了したら [完了] ボタンをクリックします。

Facebook に動画をアップロードする

ライブラリーから動画を Facebook のページに直接アップロードできます。

Facebook に動画をアップロードするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [動画] メニューから、[Facebook にアップロード] を選択します。CyberLink MediaShow のメイン ウィンドウが表示されます。

2. ライブラリーからアップロードする動画を選択します。
3. [次へ] ボタンをクリックします。[Facebook にアップロード] ウィザードが表示されます。

注：[認証] ボタンをクリックしたら、お使いのブラウザで Facebook にログインする必要があります。その後、アップロード ウィザードに戻って Facebook に動画をアップロードする認証プロセスを完了してください。Facebook のアカウントがない場合は、認証する前に登録する必要があります。

4. ウィザードに従って続行し、[アップロード] をクリックします。
5. 動画のアップロードが完了したら [完了] ボタンをクリックします。

第7章：

コピー&バックアップ

CyberLink Media Suite を使用すると、CyberLink Power2Go でデータ DVD や CD を簡単にコピーできます。また、CSS 保護されていない DVD ビデオは、CyberLink PowerDVD Copy でコピーできます。



CyberLink Power Backup を使うと、データをすべてバックアップし、必要に応じてリストアすることもできます。

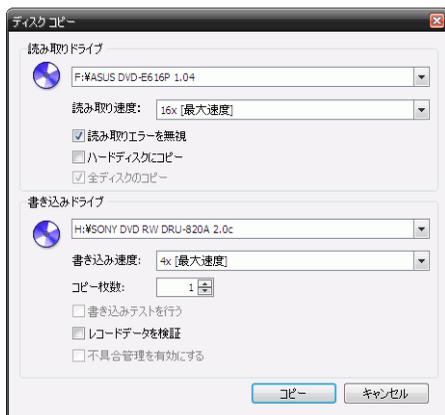
注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

データディスクをコピーする

ディスクコピーオプションでは、各種ディスク形式にコピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。(たとえば、CD の内容を DVD にコピーすることはできません。)

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、コピー元となるデータディスクのタイプ（Blu-ray ディスク / DVD / CD）を選択します。



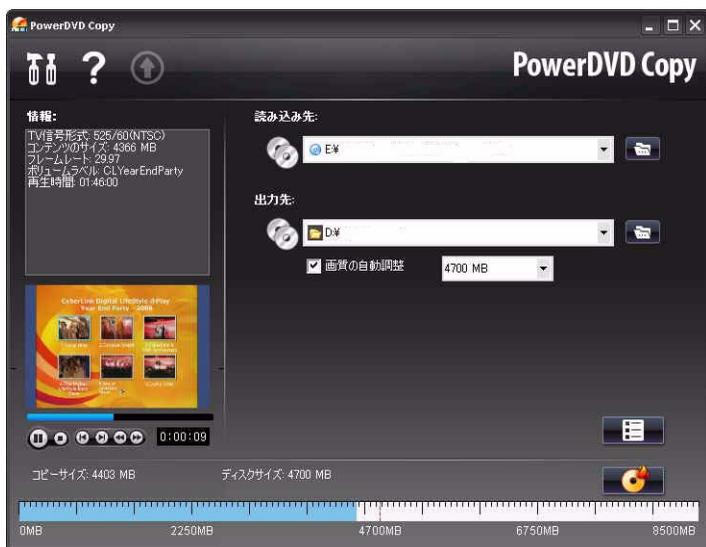
2. 読み取りドライブと書き込みドライブを選択します。
3. [コピー] をクリックします。CyberLink Power2Go は、コピーしたデータをディスクに書き込みます。
4. 書き込みが完了したら、ダイアログボックスからオプションを選択して以下を行います。
 - 書き込みログを表示するには、[ログの表示] をクリックしてください。ログはデフォルトのテキストエディタで開き、見たり、保存したりすることができます。
 - [OK] をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

ムービー DVD をコピーする

CyberLink PowerDVD Copy は、DVD ムービーをディスクやハードドライブからバックアップ DVD にコピーするための専用ツールです。DVD フォルダをハードドライブに作成したり、ムービーとして DVD に書き込んだりできます。選びやすいオプションや、シンプルなインターフェイスにより、DVD コピー操作を簡単に行えます。

ムービー DVD をコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [コピー&バックアップ] メニューから、[ムービー DVD のコピー] を選択します。CyberLink PowerDVD Copy のウィンドウが表示されます。
2. CyberLink PowerDVD Copy ウィンドウで、コピーするムービー DVD のビデオソースを選択します。



3. ムービー DVD のコピー先を選択します。
4. コンテンツの一部をコピーする場合、 ボタンをクリックして、コピーする DVD のコンテンツを選択します。
5.  をクリックします。CyberLink PowerDVD Copy は、ムービーをディスクに書き込みます。

PC のバックアップとリストアを行う

データのバックアップはセキュリティにおける重要な作業のひとつです。これにより、災害やディスクエラーの発生時、またハッカーやウイルスによる攻撃を受けた場合などに、膨大な時間と費用を節約することができます。重要なデータを別の媒体にバックアップしておけば、データを元の状態にすまやかに戻すことができます。

- ・ **リストアツールを含む**: 実行可能 (.exe) ファイルを作成して、PowerBackup プログラムがインストールされていないコンピュータでもデータを復元できるようにする場合、これを選択します。
- ・ **バックアップファイルの分割設定**: バックアップファイルを指定したサイズに分割します。

ステップ 3- バックアップ方法の選択

[**バックアップ方法の選択**]をクリックし、使用するバックアップ方法（必要であれば、詳細方法も）を選択します。

- ・ バックアップ方法には、[**すべてバックアップする**]、[**差分をバックアップする**]、[**増分をバックアップする**]があります。
- ・ その他のオプションを表示するには、[**オプション**]をクリックします。

注: この機能は製品のバージョンによって異なるため、一部の機能はご利用にならない場合があります。

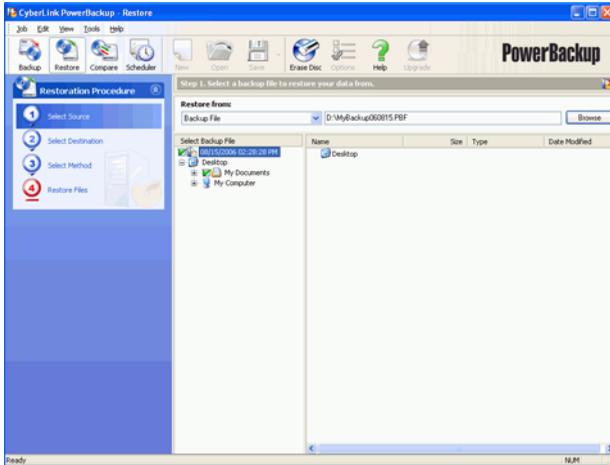
ステップ 4- ファイルのバックアップ

[**ファイルのバックアップ**]をクリックします。設定が正しいか確認し、いずれかのボタンをクリックしてバックアップを開始します。

- ・ [**バックアップの開始**]をクリックし、すぐにバックアップを開始します。
- ・ [**スケジュールに追加**]をクリックして、今後のバックアップのスケジュールを設定します。

データのリストアを行う

バックアップ後にデータをリストアするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウの [コピー&バックアップ] メニューから、[PC のリストア] を選択し、次の操作を行います。



ステップ 1- リストア元の選択

リストアウィンドウで [リストア元] ドロップダウンボックスでリストアするソースを選択します。

- **バックアップファイル**：既存のバックアップファイルからリストアします。バックアップ ファイルを開くには、[参照] をクリックし、使用するファイルを探して開きます。
- **バックアップの履歴**：以前のバックアップの記録からリストアします。([バックアップの履歴] から記録を削除するには、[編集]>の[バックアップの履歴を削除] または [バックアップの履歴をすべて削除] を使用します。)
- **ディスクドライブ**：ディスクからリストアします。

リストア元を選択したら、リストアするファイルを選択します。

ステップ 2- リストア先の選択

[リストア先の選択] をクリックし、リストア先を設定します。

- ・ **オリジナルのファイルパス** : ファイルがバックアップされた際にあった元の場所にリストアします。
- ・ **特定のファイルパス** : 新しい場所にリストアします。新しいディレクトリを設定するには、[参照]をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。
- ・ **特定のファイルパス (フォルダ構成を保持しない)** : バックアップしたファイルすべてを、単一の新しいディレクトリにリストアします。新しいディレクトリを設定するには、[参照]をクリックし、使用するフォルダを探して選択します。

ステップ3- リストア方法の選択

[リストア方法の選択]をクリックし、リストア方法を選択します。

- ・ **上書きしない** : ハードドライブにないファイルのみをリストアし、既存のファイルは上書きしません。
- ・ **新しいファイルのみ上書きする** : バックアップコピーのほうが新しい場合、ハードドライブにあるファイルを上書きします。
- ・ **常にファイルを上書きする** : 毎回、バックアップコピーでハードドライブにあるファイルを上書きします。
- ・ **上書きに関する確認を表示する** : どちらのファイルを残すか、確認メッセージが表示されます。

ステップ4- ファイルのリストア

[リストア作業の開始]をクリックし、設定が正しいことを確認します。[リストアの開始]をクリックして、すぐにリストアします。

第 8 章：

ユーティリティ

CyberLink Media Suite には、ディスクの消去や、ディスク ラベルの印刷など、便利なユーティリティが多数入っています。



ディスク イメージの作成および書き込み、DVD フォルダの書き込み、ビデオ ディスクの編集などもできます。

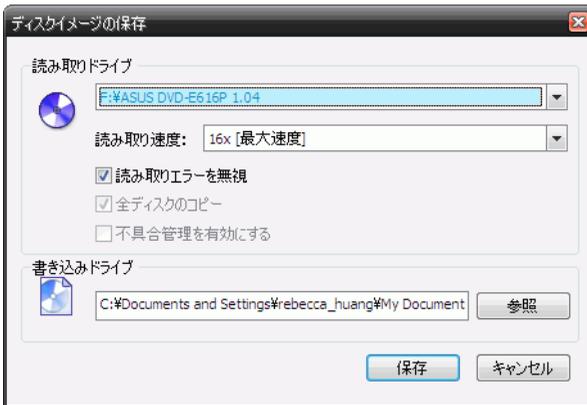
注：このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプ ファイルを参照してください。

ディスクイメージを作成する

ディスクイメージを作成してハードディスクに保存しておく、コンピュータのバックアップをあとでディスクに書き込むときに便利です。

ディスクイメージを保存する方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティー] メニューから、
[ディスクイメージの作成] を選択します。



2. ディスクをセットし、必要に応じてディスクからのイメージ作成ウィンドウの [読み取りドライブ] ドロップダウンボックスでソースを指定します。
3. [書き込みドライブ] 入力ボックスに保存先のフォルダとディスクイメージファイル名を入力するか、[参照...] をクリックしてフォルダを選択し、ディスクイメージファイル名を入力します。
4. [保存] をクリックしてディスクイメージを保存します。

ディスクイメージの書き込みを行う

ディスクイメージの書き込みにより、保存してあるディスクイメージをディスクに保存したり、CyberLink Image Recorder で作成したディスクイメージを書き込んだりできます。

ディスクイメージを書き込む方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティー] メニューから、 [ディスク イメージの書き込み] を選択します。



2. [参照 ...] をクリックして、ディスクイメージを探します。
3. ディスクを挿入して、ドロップダウンリストでドライブを選択します。
4. [書き込み] をクリックすると、ディスクへの書き込みが開始します。

ディスクを消去する

書き換え可能なディスクであれば、以前に書き込んだコンテンツを消去できます。これにより、同じディスクを何度も使用することができます。

ディスクを消去する方法は、以下の通りです。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティー] メニューから、 [ディスクの消去] を選択します。

2. ディスクを挿入して、[Erase Tool] ウィンドウで書き込みドライブを選択します。



3. 消去方法を選択します。
 - ・[標準消去]を選択すると、ディスクのコンテンツすべてを消去します。
 - ・[高速消去]を選択すると、ディスクの管理領域だけが消去されます。
4. [開始]をクリックして開始します。タスクが終了したら、ステータスに関するメッセージが画面に表示されます。

ディスクラベルを印刷する

Cyberlink LabelPrint はさまざまなレイアウト形式に対応します。また LightScribe と Labelflash 技術によるディスクへの直接印刷をはじめとする、多くの印刷オプションがあります。

注：このアプリケーションと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ラベルを作成するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティ] メニューから、[ディスクラベルの印刷] を選択します。



ステップ 1 - ラベル種類の選択

まず、印刷するラベルの種類を選択します。LightScribe ラベル、Labelflash ラベル、ディスクラベル、ミニディスクラベル、フロントジャケット（表）、フロントジャケット（裏）、リアジャケットから選択します。

ステップ 2 - ラベルテキストの編集

タイトルなどのディスク情報を追加または編集し、ディスクを識別できるようにします。また、コンテンツの情報を追加または編集し、ディスクに保存されているファイルがわかるようにします。この操作は、[ディスク情報の編集] ページで行えます。

ステップ 3 - レイアウトの編集

レイアウトを選択し、フォントを変更し、カスタムの背景画像を使って、より個性的なディスクラベルを作成します。方法は、以下の通りです。

- ・ ラベルのレイアウトを選択します。
- ・ 背景静止画を追加します。
- ・ テキストを追加 / 変更します。

ステップ 4 - 印刷

CyberLink LabelPrint を使ってラベルを印刷します。印刷可能なものは以下の通りです。

- ・ **普通紙**：プリンタが対応する用紙に印刷。
- ・ **ラベル用紙**：ラベル用の専用紙に印刷。
- ・ **ディスク**：ディスクに直接印刷。紙は不要ですが、LightScribe か Labelflash 専用の書き込みドライブとディスクが必要。

DVD フォルダの書き込みを行う

DVD フォルダを作成したら、このフォルダをディスクに書き込んで保存できます。

ディスクを DVD フォルダから書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティー] メニューから、**[DVD フォルダーの書き込み]** を選択します。



2. ディスクを挿入してドライブを選択します。
3.  をクリックし、書き込むフォルダを選択します。
4. **[開始]** をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

ビデオディスクを編集する

作品を +VR、-VR、または BDAV 形式で書き込んだ場合は、CyberLink PowerProducer を使って、後からコンテンツを編集することができます（ビデオの追加、メニューの変更など）。

書き込み後に編集するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティ] メニューから、**[ビデオディスクの編集]** を選択します。
2. **[VR の編集]** をクリックします。



3. ターゲットディスクを挿入して、書込速度とアスペクト比を選択したら **[次へ]** をクリックします。
4. CyberLink PowerProducer プログラムで必要な変更を行います。
5. 編集が終わったら **[次へ]** をクリックし、**[書き込み]** をクリックしてディスクに書き込みます。

アドバンスビデオディスクユーティリ ティ

CyberLink PowerProducer には、複数のディスクユーティリティー (ディスクコンテンツ、画像ファイル、ディスクフォルダーの管理など) が含まれています。

これらのユーティリティーにアクセスするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウの [ユーティリティー] メニューから、[**アドバンスビデオディスクユーティリティー**] を選択します。CyberLink PowerProducer のディスクユーティリティーウィンドウが表示されます。

注：ディスクユーティリティーに関する詳細は、ディスクユーティリティウィンドウからキーボードの F1 キーを押してください。ヘルプファイルの「**ディスクユーティリティ**」を参照してください。

第9章：

テクニカルサポート

この章では、テクニカルサポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

CyberLink が提供する以下のサポート オプション内容をご参照ください(無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトのサポート ページの「ナレッジベース (FAQ)」を参照する。

<http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do>

FAQ にはユーザーガイドまたはオンライン ヘルプよりも新しい情報が掲載されている場合があります。

テクニカルサポートに電子メールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み CD キー (CD キーは、CD ケース、箱、または Cyberlink ストアで製品購入時に受け取った電子メールに明示されています)。
- 製品名、バージョン、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料で利用できます。

注：CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ やコミュニティ フォーラム * を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

注：* コミュニティ フォーラムは英語のみのサービスになります。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
中国語 (繁体字)	http://tw.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
日本語	http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
イタリア語	http://it.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
フランス語	http://fr.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
スペイン語	http://es.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do

索引

A

ATI ストリーム 69, 70, 71
AVCHD
 インポート 63

B

BGM 52
Blu-ray ディスク
 プレーヤー 23

C

CD
 音楽の取り込み元 13
CUDA 69, 70, 71

D

DirectorZone 52, 68, 73
DV カムコーダー 58
 キャプチャー元 61
DV バックアップ 61

DV を DVD に書き込む 74
DVD
 キャプチャー元 62
 プレーヤー 23

F

Facebook 55, 75
FancyView 25
 チャプター 26
Flickr 54, 68
Freesound 15, 68

H

H.264 70
HDV カムコーダー 58
 キャプチャー元 62

I

InstantBurn
 InstantBurn の使い方 36
 ディスクの消去 87
 対応するディスク 37
iPhone 68
iPod 68
iTunes 69

L

LabelPrint 88
LightScribe 90

M

MPEG-2 70
MPEG-4 70

P

Power2Go
オーディオ CD の取り込み 13
ディスクイメージの作成 85
ディスクイメージの書き込み
86
ディスクのコピー 77
データ ディスクの書き込み 33
音楽ディスクの作成 12
音楽ディスクの書き込み 12
PowerBackup
データのバックアップ 80
データのリストア 82
PowerDVD 23
PowerDVD Copy
ムービー ディスクのコピー 78
ムービー ディスクのコピー 78
PowerPoint ファイル
インポート 40
PS3 68, 70

PSP 68, 70

T

TrueTheater
ビデオエフェクト 26
TV
キャプチャー元 62

V

VST 20
インポート 21

W

WMV 70

X

Xbox 68

Y

YouTube 75

Z

Zune 68

あ

赤目 45
 アクセス 3
 新しいファイルのみ上書きするオプション 83
 アップグレード 6
 あとでバックアップするように設定 81
 アルバム 41, 64
 お気に入り 41, 64
 アンティーク 46

い

イコライザー 20
 印刷
 ディスクラベル 88
 メディア 90
 印刷可能なメディア 90
 インポート
 PowerPoint ファイル 40
 VST エフェクト 21
 エフェクト 21
 ファイル形式 15
 メニューのダウンロード 52
 音声 15
 動画 58

う

ウェブカメラ
 キャプチャー元 62
 上書き確認を表示するオプション 83
 上書きしないオプション 83

え

エクスポート
 ファイル形式 22
 音声 22
 エフェクト
 VST 20
 インポート 21
 カスタム 20
 デフォルト 19
 適用 21

お

オーディオトラック、ハードディスクへ取り込み 13
 オーディオ変換 14
 オートレジューム
 オプション 25
 お気に入り 4, 41, 48, 64
 アルバム 41, 64
 お気に入りに追加 4
 お気に入りの削除 4
 オリジナルのファイルパスオフ

- シヨン 83
- 音楽 3
 - ハードドライブに取り込み 13
- 音声
 - エクスポート 22
 - ノイズ低減 66
 - 書き込み 3
 - 編集 3, 17
 - 保存 22
 - 録音 16
- 音声の取り込み
 - 手順 13
- 音量 18

- 効果 45
- 微調整 45
- 編集 45
- 補正 45
- 画像のアップロード 54, 55
- 傾き補正 45
- カムコーダー
 - AVCHD 63
- カラーボード 49
- 環境設定 6
- 管理
 - 画像 41
 - 動画 64

か

- 解像度 71
- 顔
 - タグ 42, 44
- 書き込み 53
 - DV コンテンツを DVD に 74
 - ディスクイメージ 4
 - データディスク 33
 - データファイル 3
 - 音声ファイル 3
 - 書き込み後のディスク編集 91
 - ディスクイメージ 86
- カスタムプロファイル 71
- 画像 4
 - アップロード 54, 55
 - インポート 39
 - ディスクに追加 52
 - ディスク作成 4
 - 管理 41

き

- 輝度 45, 67
- 機能 5
- キャプション
 - スライドショー 47
- キャプションの表示 47
- キャプチャー
 - 1 シーン 61
 - DVカムコーダー 61
 - DVD 62
 - HDVカムコーダー 62
 - TV 62
 - ウェブカメラ 62
 - デジタルTV 62
- キャプチャーしたコンテンツ 63
- 共有 4
 - Facebook 55, 75
 - Flickr 54
 - YouTube 75

く

グリッド・ビュー
 チャプター 26
 グロー 46
 クロップ 45

け

形式 71
 検索
 アルバム 12
 アーティスト 12
 ジャンル 12
 最近追加 12
 年 12
 検索タグ 42, 65

こ

効果 45
 高速消去 88
 コピー 4
 コントラスト 45, 67
 コントロール 28

さ

最近作成したドキュメント 34
 最近のデータタブ 34

最近開いたドキュメント 34
 再生

ムービー 3
 動画 48
 コントロール 28
 全般 24

彩度 45, 67

作成

ディスクラベル 4
 ディスクラベル 88

し

システム要件 8
 シャープネス 45, 67
 主音量 18
 出力 4
 消去
 ディスク 4
 白黒 45
 白黒フォーカス 46

す

スライドショー 4
 BGM 52
 オープニング 47, 52
 キャプションの表示 47
 スタイルの説明 52
 スタイルの選択 52
 スピード 52
 セル 52
 テキスト 50

- デザイン 49
- フェーディング 52
- プロパティ 50
- メディアの追加 49
- モーション 52
- スライドの変更 49

せ

- 生成
 - ノイズ 20
 - 無声音 20
- 設定 30
- セピア 46
- セル 52

そ

- 速度 20
- 速度変更 20
- ソフトフォーカス 46

た

- 対応するディスクとファイル形式 24
- ダウンロード 52
 - 音声 15
- タグ 42, 65

ち

- チャプター
 - ビューワー 25
- チャプタービューワー
 - FancyView 26
 - グリッド・ビュー 26

つ

- 追加
 - テキスト 50
 - フェイス タグ 44
- 続きから再生
 - オプション 25
- 常にファイルを上書きする 83

て

- ディスク
 - スタイル 51
 - タイトル 51
 - 画像の追加 52
 - 作成 4
 - 書き込み 53
 - 対応する形式 24
 - 編集 4
- ディスク メニュー
 - 構造 73
- ディスクイメージ
 - 書き込み 86
 - 保存 85

ディスクのコピー 77
 ディスクの消去
 手順 87
 ディスクユーティリティ
 ディスクイメージの書き込み
 86
 ディスクイメージを保存 85
 ディスクの消去 87
 音声の取り込み 13
 ティント 46
 データ 3
 バックアップ 4
 データのバックアップ 80
 データのリストア 82
 テキスト 50
 デジタルTV
 キャプチャー元 62
 手ぶれ映像 66
 電話 20

と

動画 4
 アップロード 75
 インポート 58
 カスタムプロファイル 71
 トリム 66
 管理 64
 微調整 67
 変換 68
 編集 67
 補正 66
 動画のアップロード 75

動画のキャプチャー 58
 特定のファイルパスオプション
 83
 特定のファイルパス（フォルダ構
 成を保持しない）オプション 83
 トリム 66

な

ナビゲーション
 スライダー 28

の

ノイズリダクション 20

は

バージョン情報 6
 バージョン表 7
 バックアップ 4
 バックアップの履歴 82
 バックアップの履歴をすべて削除
 82
 バックアップの履歴を削除 82
 バックアップファイルの分割 81
 バランス 45
 反響 20

ひ

微調整 45, 67
ピッチシフト 20
ビットレート 71
ビデオコンバーター 68
ビデオノイズ、低減 66
人
編集 43
ビネット 46
標準消去 88

ふ

ファイルディレクトリペイン 80
ファイル形式
インポート 15
エクスポート 22
対応 24
ブースト 19
フェイスタグ 42, 44
フェーディング 52
フェード 17, 19
フォルダー 42, 65
普通紙 90
プラグイン 21
プレビュー 19
プログラム 5, 6
プロパティ 50
プロファイル 71

へ

編集 44, 45, 65, 67
音声 17
音声ファイル 3
画像の補正 45
元に戻す 46, 67
書き込み後のディスク 91
動画 4
動画のトリム 66
動画の補正 66

ほ

補正
画像 45
動画 66
保存
音声 22
ホワイトバランス 45, 67

ま

マット 46

む

ムービーDVDのコピー 78
ムービープレーヤー 3

め

明暗

自動補正 45, 66

メディアタブ 12

メディアライブラリサービス 12,
34

メニュー 51

ダウンロード 52

も

モーション 52

元に戻す 46, 67

ゆ

ユーティリティー 4

よ

用紙テンプレート 90

ら

ライブラリー 41, 64

ラジオ 20

ラベル 4

り

リストアツール 81

ろ

録音 16

ログの表示 13

ログの編集 46, 67

ログの表示 34

